

新しい幸せを、わかすこと。

 **NORITZ**

環境社会報告書2012

Environmental & Social Report 2012

エコ＊リラ＊キレイ



環境省認定
エコ・ファースト企業です

株式会社ノリツ

CONTENTS

トップメッセージ	03
東日本大震災の復興支援活動のご報告	05
【特集】社会との共生	
● 3つの笑顔プロジェクト	06
● 地球の笑顔プロジェクト	07
● 人に笑顔プロジェクト	09
● 暮して笑顔プロジェクト	11
きれいな地球を次の世代へ	13
【TOPICS】2011年の活動概要	15
製品を通じた環境負荷低減	
● 製品・サービスの環境配慮	19
● 製品の省エネルギー・地球温暖化防止	21
● 製品・包装における資源の有効利用	28
● 製品の化学物質低減とグリーンサプライチェーン	29
事業活動での環境負荷低減	
● 事業活動での環境負荷低減	31
● 資源の有効活用	33
環境管理システム・海外での取り組み	35
環境コミュニケーション	37
ノーリツグループの概要(経済性・事業領域)	41

編集方針

ノーリツグループは、2006年を「CSR元年」と位置付け、グループ全体で活動の質を高めていくために、その基本となる考え方を中心に網羅性を重視した環境社会報告書を発行しています。

今回発行した環境社会報告書2012は、この考え方をもとに、ノーリツグループにとって重要性の高い優先取り組み事例を中心に報告しています。

対象機関・対象範囲

対象期間：2011年度(2011年1月～2011年12月)。ただし、これ以前の事実、これ以降の方針や目標・計画についても一部掲載しています。

対象範囲：株式会社ノーリツおよび、国内・海外のグループ会社。
環境パフォーマンスデータの集計範囲は下表の通りです。

環境パフォーマンスデータ集計対象事業所(会社)：

生産事業所(会社)	11(国内9、海外2)
非生産事業所(会社)	9(国内4、海外5)

Web掲載情報について



Webサイトで、詳細情報を開示しています。
本文中に「Web」マークのある記載事項は、Webサイトで情報をご覧いただけます。

<http://www.noritz.co.jp/csr/>

前回発行月と次回発行月

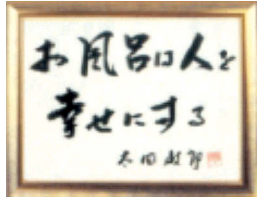
前回(2011年4月発行) 次回(2013年4月発行予定)

環境社会報告書に関するお問い合わせ先

管理本部 環境推進室 〒674-0093 明石市二見町南二見5
TEL(078)941-3205 FAX(078)941-4542

【注意事項】本報告書は、発行時点における経営計画や見通しに基づいた将来予測が含まれています。この将来予測は記述時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでいます。

ノーリツグループは、「環境、安全、快適、健康・美容」をテーマとした豊かな暮らしづくりを通じて持続可能な社会の発展に貢献します。



創業の原点

ノーリツの歴史は、1951年に能率風呂工業を創設したことに始まります。創業の原点「お風呂は人を幸せにする」。このメッセージには、戦後復興期における人々の生活水準を向上させたいという情熱が凝縮されていました。

それから33年。1984年に企業理念を制定しました。株式市場に上場するタイミングであったことと、住空間に事業を拡大することを予定していた、いわば“第2の創業期”と呼べる時期にあたります。

この機会に、改めて創業の原点と、将来に向けた価値観を全員で共有化することを目的としたものです。



企業理念

**お湯と健康
愛とやすらぎ
豊かな暮らしをつくる
ノーリツ**

心の豊かさあふれる暮らしを提供する。この理念に込められた想いは、変わることのない普遍的なものです。

**企業理念はそのままに、
「お湯を超えていくノーリツグループ」として…**

新しい幸せを、わかすこと。

人と地球の笑顔に向けて、
暮らしの感動を追求する
ノーリツグループ

グループビジョン

そして、2011年。創業60年の節目を迎える私たちは、新たにグループビジョンとお客さまに約束するブランドメッセージを策定いたしました。

「新しい幸せを、わかすこと。」

私たち一人一人が、それぞれの得意な分野を活かしながら住生活を通じて、お客さまと感動を共有すること。そして、人と地球のあしたを、もっと笑顔にすること。

企業理念はそのままに、私たちは、「環境、安全、快適、健康・美容」を柱とした豊かな暮らしの創造と地球環境問題への積極的な貢献により、「お湯を超えていくノーリツグループ」として、皆さまとの「信頼の絆」をより深く育て、社会と当社グループの持続可能な発展を目指します。

これが、ノーリツグループのCSR(企業の社会的責任)です。

エコ*
リラ*
キレイ

ブランドメッセージ

「エコ*リラ*キレイ」は、私たちノーリツグループがお客さまに約束する幸せな暮らしの三原色です

地球にやさしい暮らしをあたりまえにする… ”エコ”
住まいをまるごと居心地よくする…………… ”リラ”
心身ともに美しく、健やかにする…………… ”キレイ”

そのすべてを輝かせること。
それが、私たちの掲げる新しい目標です。

人と地球の笑顔に向けて、
暮らしの感動を追求します。



代表取締役社長 兼 代表執行役員

国井 統一郎

お風呂は人を幸せにする

このたびの東日本大震災にて被災された皆さま对不起、心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆さまにおかれましては、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

2011年3月11日の東日本大震災は、関東・東北エリアに多くの被害をもたらしました。このような状況に際し当社では、兵庫県と連携しながら、気仙沼市の避難所に向けて、プライバシーを確保したシャワー施設12基を提供いたしました。今回のシャワー施設の提供では、当社が16年前に阪神・淡路大震災を経験した兵庫県の企業として、少しでも恩返しのできたこと、そして、被災地にお湯を届けることで、創業の原点「お風呂は人を幸せにする」、グループビジョン「新しい幸せを、わかすこと」を少しでも実現できたと思っております。また、電力不足に対しましても、ノーリツグループすべての事業所・工場で、積極的な節電対策を実施しております。

お湯をわかす会社から、未来をわかす会社へ

ノーリツグループは、創業60周年を迎える2011年、新中期経営計画「Vプラン16」をスタートしました。「Vプラン16」は2016年までに当社グループが目指す“ありたい姿”を明示したもので、グループビジョンを「新しい幸せを、わかすこと。」ブランドメッセージに「エコ*リラ*キレイ」を掲げ、人と地球の笑顔に向けて、暮らしの感動を追求することを宣言いたしました。

私たちは、創業以来お湯を基軸に、心の豊かさあふれる暮らしを提供することに注力してまいりました。この想いは変わることのない普遍的なものですが、「豊かさ」は時代の流れとともに進化します。たとえば今、地球環境に配慮しないで、真の豊かさを得ることはできません。限りある化石燃料をもっと上手に使う、再生可能なエネルギーに代替するなど、経済と環境が両立するやさしいアイデアが豊かさの条件のひとつです。経済と環境そして社会を加えたトリプルボトムラインを持続的に発展させることが、豊かさにつながる時代ではないでしょうか。ノーリツグループは、人と地球のあしたをもっと笑顔にするために、お湯をわかす会社から、未来をわかす会社へ進化し、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）を全うすることに邁進してまいります。

新中期経営計画Vプラン16

2011年よりスタートした新中期経営計画「Vプラン16」では、経営基盤の一層の強化とグループ経営の質的向上を図るとともに、従業員が自信と誇りをもてるノーリツグループにすることを基本方針に掲げております。また、これを達成するための4つの実現課題「成長戦略・強いブランド・強い連携・強いチーム」を推進いたします。特に、6年後の“ありたい姿”「人と地球の笑顔に向けて、暮らしの感動を追求するノーリツグループ」に到達するためには、お客さまや社会が抱える共通の課題を事業戦略に組み込み、積極的に問題を解決していくことが重要です。私たちは、「環境、安全、快適、健康・美容」といった人と地球の笑顔に密接に関係するテーマに向き合います。そして、お客さまや社会と当社グループの共通の利益を創造することで、“ありたい姿”を実現するとともに、社会の持続可能な発展に貢献します。

エコ・ファーストの約束を更新しました

地球環境の保全と資源の持続可能な利用という、国際社会に共通の課題に対処するため、各企業において地球環境問題を重要分野と位置づけ、製品や事業活動を通じた様々な取り組みが加速されつつあります。

ノーリツグループでは、「きれいな地球を次の世代へ」をスローガンに環境管理システムを構築するとともに、環境負荷低減に向けた具体的な施策を立案し地球環境保全活動を推進しております。その中でも特に地球温暖化防止は最重要課題です。環境省認定の「エコ・ファースト企業」として、チャレンジングな取り組みを展開してきました。2012年3月には、2016年までの到達点を再設定し、更新しました。特にお客さまにご使用していただくことで、地球にやさしい暮らしを実現する製品を提供することが、私たちの重要な使命だと考えています。具体的には、高効率給湯器の普及拡大の推進、再生可能エネルギーを使用した太陽熱温水器や太陽光発電などの新エネルギー分野の製品開発・販売の加速を通して、2016年までに製品使用時のCO₂排出量を20万トン（4万世帯分）削減し、低炭素社会の構築に貢献してまいります。



創業以来、ノーリツグループは、お湯を通じて豊かな暮らしづくりに貢献してまいりました。今後も、お客さま視点での経営、人や地球にやさしい製品・サービスの提供、積極的な社会貢献活動、品質の向上に不断の努力を続けてまいります。

また、これらの活動をより良いものにするためには、皆さまとのコミュニケーションが不可欠です。私たちは、「エコ*リラ*キレイ」というメッセージを通して、お客さまの暮らしの中にある情緒的な価値をお届けすることを約束し、皆さまとのコミュニケーションを深めてまいります。

「エコ*リラ*キレイ」
地球にやさしい暮らしをあたりまえにする "エコ"
住まいをまるごと居心地よくする "リラ"
心身ともに美しく、健やかにする "キレイ"

そのすべてを輝かせることを目標に、人と地球が笑顔になる、新しい幸せを暮らしの感動を追求することで、わかしていく。

「新しい幸せを、わかすこと。」
ノーリツグループ一丸となって実現してまいります。

東日本大震災の復興支援活動のご報告

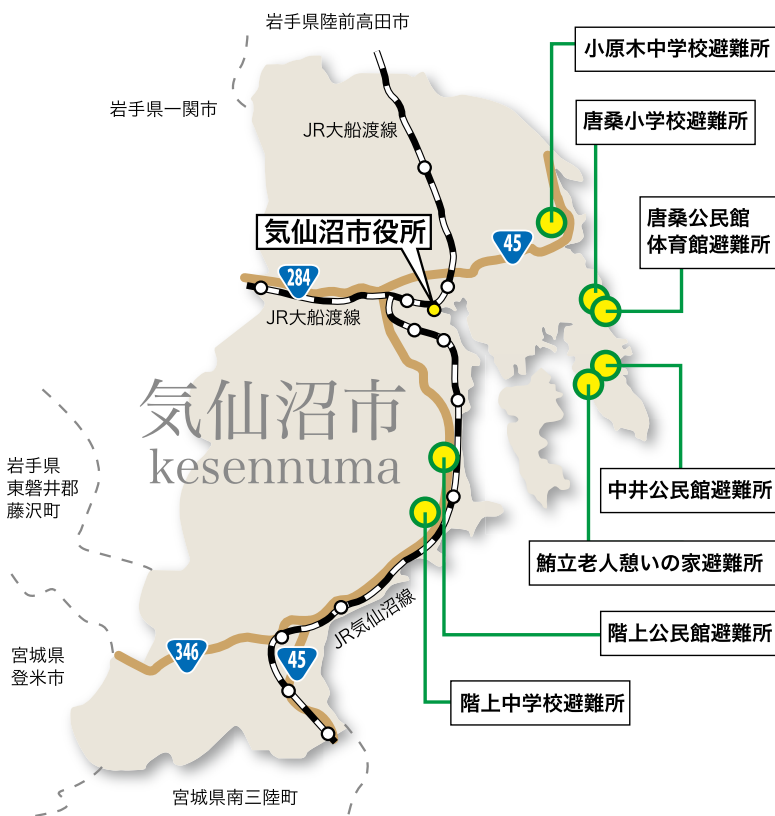
気仙沼市の避難所にシャワー施設を提供。 被災地にお湯を届けることで幸せをわかす。

2011年3月11日の東日本大震災は、大地震に加えて大津波や原発問題が重なり、関東・東北エリアに多くの被害をもたらしました。このような状況に際し当社では、兵庫県と連携しながら、気仙沼市の避難所に向けて、プライバシーを確保したシャワー施設12基を提供いたしました。

震災当時、社内イントラネットの社長の掲示板には「ノーリツグループだからこそできる支援をしたい」という書き込みが従業員から殺到。多くの声をうけて、社内に「お風呂わかしたい(隊)」を結成し、「避難所へのお風呂設置」に取り組みました。実際に利用された方からは「避難所に帰ってきた夕方以降も、プライベートを確保して体と心をリフレッシュできる時間と場所があることが、ありがたい」との声をいただきました。

今回のシャワー施設の提供では、当社が16年前に阪神・淡路大震災を経験した兵庫県の企業として、少しでも恩返しができたこと、そして被災地にお湯を届けることで、グループビジョン「新しい幸せを、わかすこと。」を少しでも実現できたことを成果として、今後の事業活動に邁進してまいります。また、シャワー施設の提供以外にも義援金の寄付、全国ショールームでの募金活動、支援物資の提供などを行いました。

■7カ所の避難所に計12基のシャワー施設を設置



シャワー施設の特徴

- プライバシーに配慮し、個室型のシャワールームに脱衣場を併設
- 高齢者に配慮し、手すり、介護用シャワー椅子を設置
- 断熱性を考慮し、システムバスの壁を使用
- 当社ガス給湯器とミストシャワーを設置



中井公民館避難所にシャワー施設を設置したノーリツグループのメンバーと避難所の代表者

社会との共生を目指して 3つの笑顔プロジェクト活動報告

「人と地球と暮しの笑顔」をテーマに3つの笑顔プロジェクトが昨年スタートしました。

ノーリツグループは、「あしたをもっと、エコ*リラ*キレイに。」を合言葉に、事業活動を通じて、社会と共有できる価値を生み出す、社会貢献活動に取り組んでいます。

地球の笑顔

森林育成プロジェクト

兵庫県森林組合とタイアップ。間伐事業を支援することで、森林育成に貢献しています。

P7

人に笑顔

障がい者自立支援プロジェクト

福祉施設とタイアップ。給湯器リサイクルを通して障がい者がイキイキと働ける機会をつくっています。

P9

暮しで笑顔

「浴育・食育」プロジェクト

お風呂や食事という時間を幸せに過ごしてもらうため、「浴育」と「食育」を通じてその楽しさ、大切さを伝えています。

P11

はじめていなす、社会への「ありがとう」。

3つの笑顔 プロジェクト



地球の笑顔

〈森林育成〉プロジェクト

森林は、CO₂を吸収固定することをはじめ、欠かすことのできない様々な自然環境維持機能を持っており、今を生きる私たちが、次の世代につないでいく大切な財産です。

健全な森林を守るためには、「育てる、伐る、利用する、植える」といった、当たり前なサイクルを自然なことにする必要があります。

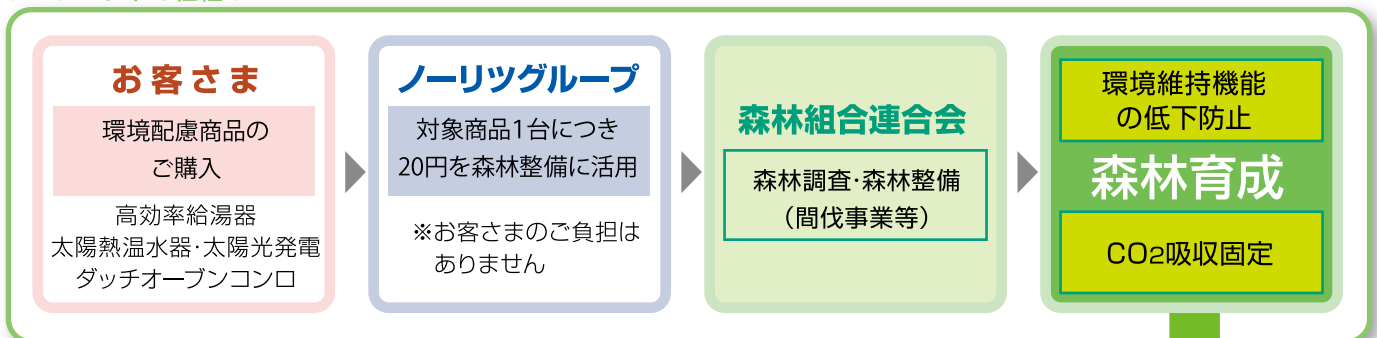
ノーリツグループは、森林育成に欠かせない間伐事業などを支援することで、地球の笑顔を守るための活動を進めています。

■地球の笑顔プロジェクト第1弾中間報告(期間:2011年1月~2012年12月)

お客さまの消費が森林育成に活かされる地球の笑顔プロジェクト第1弾。

昨年は総額1,490万円を森林カーボンオフセットサービスを利用した間伐事業支援や間伐材の利用促進に役立てました。

プロジェクトの仕組み



ノーリツグループは、エコジョーズなどの環境配慮商品一台につき20円を森林整備に活用する社会貢献を進めています。昨年は、次の2つに取り組みました。

1. 森林カーボンオフセットサービスを利用して森林整備事業を支援

兵庫県朝来市の森林を対象としたCO₂排出権を700t-CO₂購入。
森林へ資金を還流することで、森林育成に貢献しています。

2. 間伐材の利用促進に貢献

ウッドコースター(8,000枚)・カッティングボード(30,000枚)を制作し間伐材の有効利用に貢献しました。



森林カーボンオフセットサービス利用証明書と間伐材を利用したノベルティ

森林カーボンオフセットサービス契約第1号

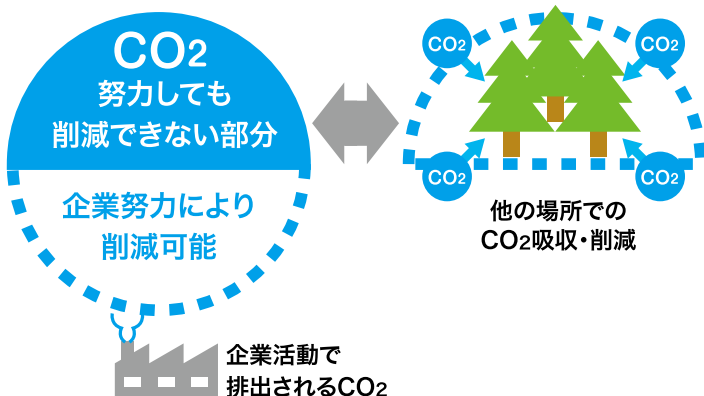
ノーリツグループは、(株)日本オフセットデザイン創研が兵庫県森林組合連合会とともに提供している「森林カーボンオフセットサービス」を利用して、兵庫県朝来市の間伐などの森林整備事業を支援しています。

同サービスは、企業が削減しきれないCO₂を、森林資源で相殺するものであり、当社が契約第1号として朝来市の森林整備事業を支援することになりました。朝来市では市有林約710ヘクタールの内、約290ヘクタールの森林を対象にCO₂吸収量のクレジット化を進めています。

昨年は、700トン分のCO₂排出権を買い取り、森林整備事業を支援するとともに、ノーリツグループが事業活動で排出するCO₂の削減に役立てています。



カーボンオフセットの利用証明書を(株)ノーリツの國井社長(左)に渡す朝来市の多次市長(右)



太陽光発電システムを生産しているノーリツの加古川事業所は、CO₂排出量をゼロにしました。

企業努力で削減しきれなかったCO₂排出量約597t-CO₂(2011年1月～12月実績)をカーボンオフセットすることで、加古川事業所ではCO₂排出量ゼロ化を実現しています。

■加古川事業所で削減しきれなかったCO₂排出量

	単位	使用量	CO ₂ 係数	CO ₂ (t)
電気	kwh	1,555,648	0.382	594.2
LPG	kg	474	1,422	1.4
水道	m ³	1,787	1,162	1.1
合計				596.8

人に笑顔

〈障がい者自立支援〉プロジェクト



わが国の障がい者数は700万人を越え、働きたくても働けない人が年々増加傾向にあると言われています。

ノーリツグループは「福祉から雇用へ」をキーワードに、使用済みの給湯器をリサイクルすることで、障がい者がイキイキと働ける機会づくりを進めています。

人に笑顔を、そして地球資源にやさしいサイクルを広げていきます。

2011年活動報告

ノーリツグループの特例子会社エスコアハーツは、2008年から自社の返品物を中心に給湯器リサイクルに取り組み、そのノウハウを蓄積してきました。

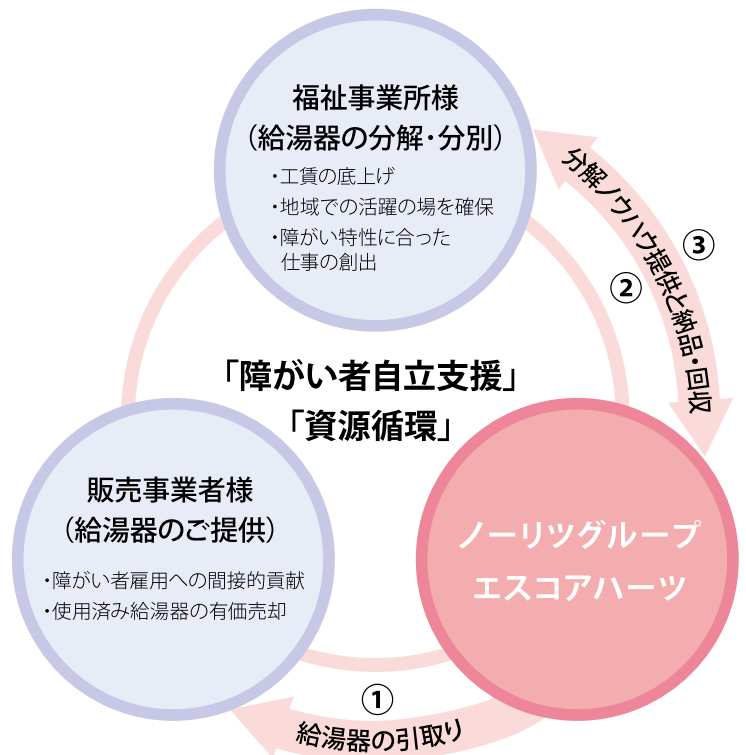
現在、人に笑顔プロジェクトでは、この取り組みを地域の福祉事業所様へ拡大し、障がい者がイキイキと働ける機会づくりを進めています。

2011年は、以前から準備を進めてきた社会福祉法人兵庫県福祉事業団が運営する小野福祉工場様との業務提携を本格化するとともに、新たに3つの福祉事業所様と連携して約1,000万円の就業機会を提供することができました。

業務提携している福祉事業所様		開始
社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 小野福祉工場	兵庫県 小野市	2010年 12月
社会福祉法人 加古川はぐるま福祉会	兵庫県 加古川市	2011年 4月
社会福祉法人 いずみ野福祉会	大阪府 岸和田市	2011年 4月
NPO法人 たつのGHO	兵庫県 たつの市	2011年 4月

また、供給サイドの販売事業者様は2011年12月時点で、47社60拠点に拡大。皆様に快くご協力いただいています。但し、4つの福祉事業所様がフル稼働するだけの回収量を確保できていないのが実情。着実に回収量を拡大していくことが喫緊の課題です。

人に笑顔～障がい者自立支援～プロジェクトのスキーム



- ① エスコアハーツが販売事業者様へ訪問。使用済みの給湯器を有価で買い取ります。
- ② 買い取った給湯器を福祉事業所様へ納品。福祉事業所様で分解し素材別に分別します。
- ③ 分別された素材は、エスコアハーツが回収。資源再生業者へ売却します。

給湯器リサイクルの現場より



小野福祉工場にて



はぐるま福祉会にて



エコアハーツにて



たつのGHIOにて



エコアハーツ資源再生部で
班長を務める本岡さん
(通称モッチー)に
仕事について聞きました。

給湯器の分解の仕事は楽しいです。特に、古い給湯器の分解作業で、なかなか取れない部品が少しの工夫でスコーンと取れた時はすっきりします。メンバーの指導など大変な面もありますが、分解した部品が、また使われ世の中の役にたっているとすると達成感があります。



エコアハーツ
資源再生部

班長 本岡 陽介さん

当工場では、障がい者の自立を目指して常用雇用を行っているため、次の3つの条件にあった仕事に取り組みたいと考えていました。

- ①障がいの重度・軽度にかかわらずできる仕事
- ②クリーンな仕事
- ③採算性がよい仕事

今回、業務委託を受けている給湯器リサイクルは、これらの条件をクリアしており、また納期に迫られないことや、多少元気よくぶつけても大丈夫と言った理想的な仕事です。また、仕事を始めてから養護学校の先生や地域の授産施設などから工場見学が増え、外部の人から見られているという緊張感から、従業員の士気が上がり職場に活気が出てきたように感じられます。今回の仕事を提供していただいた皆様には感謝するとともに、今後、地域の福祉事業所とも連携して仕事の輪を広げていきたいと思っています。



小野福祉工場
工場長 小谷 道夫さん

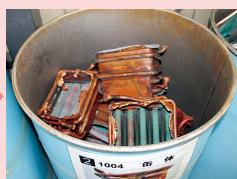
本岡さんは、エコアハーツ創業当初から頑張ってくれているメンバーの一人。現在は、資源再生部の班長として、分解・分別作業の全ての工程をマスターし他のメンバーを引っ張っています。

銅がリサイクルされるまで

給湯器に含まれる最も付加価値の高い素材は銅です。エコアハーツや福祉事業所様で分解され取り出された銅は、下記の工程を経て製品としてリサイクルされます。



給湯器を分解。部品ごとに分別。



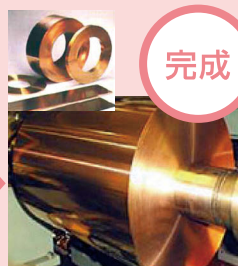
資源再生業者へ売却。



再生メーカー向けに圧縮加工。



再生メーカーで融解。



完成

ロール化し製品化

※販売事業者様から回収した給湯器は全て福祉事業所様で分解・分別しています。



暮らしで笑顔

〈浴育・食育〉プロジェクト

暮らしの中にある「小さな幸せ」。毎日の習慣である入浴や食事そのひとつです。そして、これらをもっと楽しく輝かせるのは、親子のコミュニケーションではないでしょうか。

ノーリツグループは、お風呂やキッチンで繰り返される日常の「小さな幸せ」をもっと、わかすために・・・「浴育」や「食育」を通して、日本のお風呂や食の文化を楽しく子どもたちに伝える活動を進めています。

2011年活動報告

ノーリツグループは、2007年からイベント会場で「お風呂絵本の読み聞かせ会」を開催。2009年からはオリジナルの紙芝居「パンダのふしぎなお風呂」を制作し、年1回のペースで紙芝居の読み聞かせ会を実施してきました。

2011年は、2つのテーマをもって「暮らしで笑顔プロジェクト」を進めてきました。1つ目は、イベント活動を通じて少しでも多くの人に浴育や食育に、ふれあう機会を提供すること。2つ目は、情報提供による啓蒙活動を強化することです。

まず、浴育イベントは、従来のオープンイベントに加え、より親しみのあるものにするために、子どもたちの生活シーンに密着した幼稚園や保育園、児童館などで「浴育イベント お風呂って楽しいでSHOW!」を展開。また、食育活動ではJR旭川駅での「ノーリツ親子食育教室」や最新コンロを使った調理体験会を開催。これら全10回のイベントを通じて、お風呂や調理の楽しさを子どもたちに伝えることができたと思っています。

次に、啓蒙活動では、2011年7月に「浴育・食育」のスペシャルサイトをオープン。イベント情報の発信や報告、お風呂やキッチンの歴史を学ぶ等、楽しいコンテンツづくりを進めています。

また、「浴育」「食育」ブックを発行し、冊子による情報提供も行っています。

「浴育」イベント実績			開催月
I	東日本震災チャリティ デックス東京ビーチ	東京都港区	4月
II	お風呂って楽しいでSHOW! in あさひ保育園	兵庫県神戸市	6月
III	お風呂って楽しいでSHOW! in 神陵台幼稚園	兵庫県神戸市	6月
IV	お風呂って楽しいでSHOW! in 白雲谷温泉ゆびか	兵庫県小野市	8月
V	お風呂って楽しいでSHOW! in 明舞幼稚園	兵庫県神戸市	9月
VI	親子のふれあいは、お風呂から デックス東京ビーチ	東京都港区	10月
VII	お風呂って楽しいでSHOW! in ノーリツ神戸ショールーム	兵庫県神戸市	11月
VIII	お風呂って楽しいでSHOW! in 塩瀬児童センター	兵庫県西宮市	12月

「食育」イベント実績			開催月
IX	最新コンロを使った調理体験 in キッチンスタジオ	東京都港区	9月
X	ノーリツ親子食育教室 in JR 旭川駅	北海道旭川市	11月

「浴育」「食育」ブック

子どもたちと一緒に
お風呂やキッチンの歴史を探索!

あなたはどれだけ知ってる?
浴育・食育ブック
大好評?配布中です!



■おふろって楽しいでSHOW!

日常の「小さな幸せ」を、もっとわかすための活動として、「浴育イベント おふろって楽しいでSHOW!」を開催。おふろの楽しさを伝えることはもちろん、これをもっと楽しくする親子のコミュニケーションづくりのきっかけにしたいという目的で実施しています。



こんなイベントをやったヨ!

まずは、ノーリツオリジナル紙芝居「パンダのふしぎなお風呂」から。森を舞台に寒い冬の準備を始めるキツネや熊たちの前に現れた見慣れない動物、パンダとの心温まるエピソード。口演者のかおるお姉さんの語りに子どもたちは夢中に。

次は、銭湯・お風呂マナー〇×クイズ。「服を脱いでそのままお風呂に入ってもいい?」など、かおるお姉さんが出すクイズに、園児たちは〇×で答えます。「ママは、掛け湯しないでそのまま入ってる」といったカミングアウト発言も。

ラストは、音楽ミニライブ。七色アフロヘアのミッシェルが唄うノーリツオリジナル浴育ソング「お風呂マンボ」に合わせてみんなで楽しく踊りました。



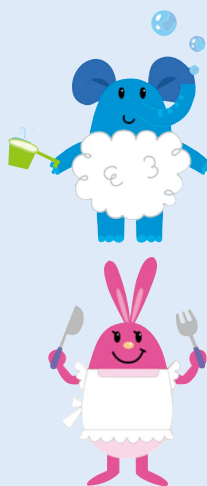
「浴育・食育」スペシャルサイトがオープン! (2011年7月)

浴育や食育の情報を広くお伝えするためにホームページ上にスペシャルコンテンツを立ち上げました。

ノーリツの「浴育・食育」の専属キャラクター“ヨクーン”と“タベロッタ”と一緒に、おふろやキッチンのお話を学んだり、楽しいイベント情報を確認することができます。



「浴育・食育」専属キャラ



ヨクーン

アフリカの草原で生まれた、心やさしいゾウの男の子。おふろが大好きで、いろいろな香りの石鹸クレグシヨンが自慢。世界中のおふろ巡り旅行をするのが夢。

タベロッタ

北欧の森で生まれた、ちょっぴりおしゃまなうさぎの女の子。なんでもおいしく調理して食べる美食家。世界のお料理や栄養に関する知識も豊富。



http://www.noritz.co.jp/csr/social/yoku_shokuiku.html

※「浴育」は東京ガス(株)の登録商標です。

環境理念と環境基本方針

私たちは「きれいな地球を次の世代へ」をスローガンに、環境管理システムを構築し、環境負荷低減をはじめとした具体的な行動計画をもとに、ノーリツグループ全体で地球環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

環境理念 改訂:2007年1月 制定:2000年1月

私たちは、良き企業市民として循環型社会の実現を目指し、あらゆる企業活動において地球環境保全に積極的に取り組みます。

スローガン ～きれいな地球を次の世代へ～

環境基本方針 改訂:2010年4月 制定:2000年1月

① 環境管理システムの構築

環境管理システムを構築し、継続的改善を図ることで社会責任を果たします。

② 製品及び事業活動において環境負荷低減

製品及び事業活動において、環境へ配慮し、地球温暖化の防止、省資源、有害物質・廃棄物削減・生物多様性の保全など、環境負荷の低減を行い、循環型社会の実現に貢献します。

③ 環境リスクの低減

環境関連法規類の順守はもとより、企業として社会的責任を自覚した自主基準を設け、環境リスクの低減、汚染の予防に努めます。

④ 環境コミュニケーションを通じた環境保全活動の推進

環境教育を通じて一人ひとりの環境意識の向上を図り、地球環境問題の深刻化を認識するとともに良き企業市民として社会・地球における環境保全活動を実施していきます。

ノーリツグループの年間CO₂排出量は日本のCO₂総排出量の1%にあたります

ノーリツグループは、約3.7万tの資源と各種エネルギーを投入し、ライフサイクルを通して約1,260万tのCO₂を排出しています。これは日本全体のCO₂排出量約12.6億t*に対して1%を占めていることとなります。

特にプロセス毎のCO₂排出量では

製品使用段階が
ノーリツ全体の

99%

を占めています。

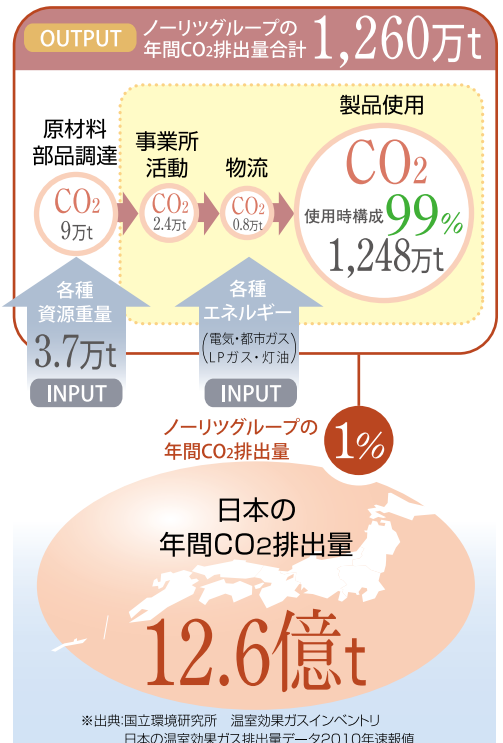
<使用時のCO₂排出量の算出について>
基準年(2000年)の年間CO₂排出量を、ガス機器(1.0t)・石油機器(1.3t)として、品群毎にCO₂削減率を乗じ、使用期間10年で算出。

低炭素社会の構築に貢献します

CO₂排出量の削減を行い、低炭素社会の構築に貢献することが私たちの大きなテーマです。

そこで、私たちは、環境戦略(エコ・ファーストの約束)を策定し、積極的に取り組んでいます。

●CO₂排出量想定(当社試算)



環境への取り組み

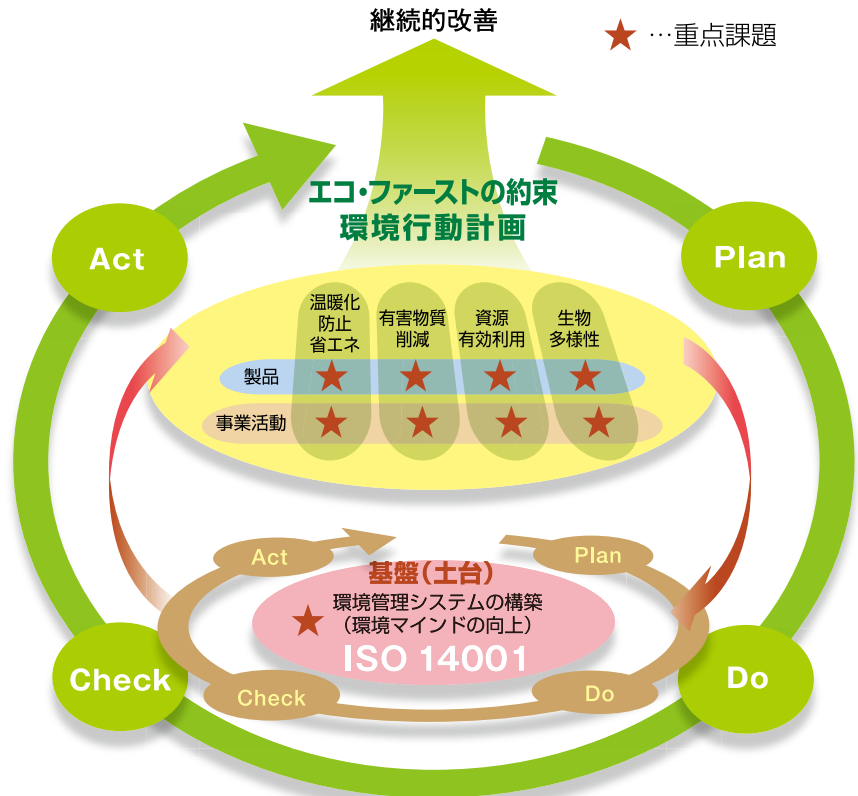
環境行動計画を策定

ノーリツグループは、「企業の成長」と「環境推進」の両立を目指した「エコ・ファーストの約束」「環境行動計画」を策定しています。

重点課題(右図★印)を決め、それを環境管理システムに落とし込み、継続的改善を図っています。

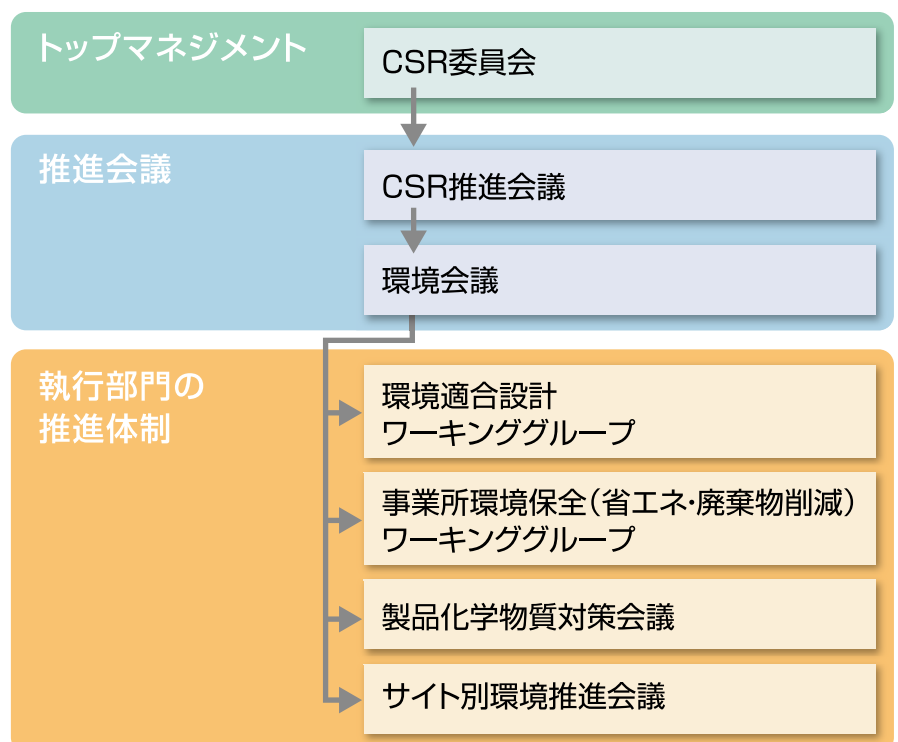
重点課題

1. 環境管理システムの構築
2. 製品・事業活動を通して
 - (1) 地球温暖化の防止、省エネルギーの推進
 - (2) 有害物質の削減
 - (3) 資源の有効利用の促進
 - (4) 生物多様性の保全



環境経営推進体制

ノーリツグループにおける環境保全活動の重要実施計画は、社長が主催する「CSR委員会」で審議・決定されます。ここで決定された「エコ・ファーストの約束」「環境行動計画」は、各執行部門の目標に落とし込まれ、活動の結果がフィードバックされる仕組みになっています。また、執行部門をまたがる個々の重要な課題に対しては、2000年から設置した環境推進室が中心となって、ワーキンググループや対策会議を設けてPDCAサイクルを回しています。



ノーリツグループのエコ・ファーストの約束

エコ＊リラ＊キレイ



エコ・ファーストの約束 (更新書) ～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 細野 豪志 殿

平成24年3月22日

株式会社ノーリツ

代表取締役社長
兼 代表執行役員

国井 総一郎

株式会社ノーリツは、温水機器、浴室・厨房機器などの湯まわり生活設備機器の設計・製造・販売を行う企業として、持続可能な社会の実現のため、地球温暖化防止への取り組みを最重要課題として、以下の取り組みを進めていきます。

1. 製品を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。

- (1) 高効率温水機器(潜熱回収型、等)と創エネルギー機器(太陽熱利用機器、太陽光発電システム等)の開発と普及に積極的に取り組み、2016年までに、従来型ガス石油温水機器に比べ、家庭の使用時のCO₂排出量を20万t/年削減することを目指します。(2000年比)
- (2) 高効率温水機器及び、創エネルギー機器の開発推進とそれぞれの特長を活かした普及促進に積極的に取り組みます。
※設置条件により高効率温水機器を設置できない場合は除く。
- (3) グリーンプロモーションを強化し、「CO₂の見える化」など製品ライフサイクルを見すえた適切で具体的な商品・サービスの環境情報をお客さまにわかりやすく提供していく取り組みを積極的に推進します。

2. 事業活動を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。

- (1) 国内事業所におけるCO₂総排出量を2016年までに20%以上削減、2020年までに25%以上削減することを目指します。(2002年比)
- (2) ノーリツグループとして全体最適化を考慮したエネルギー削減を統括的に推進するために「省エネ・マネジメント体制」を強化します。
- (3) 業務改善と設備導入の両輪で計画的にCO₂排出量の削減に積極的に取り組みます。

3. 法規制を先取りした化学物質管理を強化し、環境汚染リスクを低減します。

- (1) 自主的な取り組みとして2006年から導入している有害物質対応商品を2016年までに販売構成比80%以上になるように開発と普及に積極的に取り組みます。
※温水機器、厨房機器、ソーラー機器、暖房機器、コージェネレーション機器が対象
- (2) 2010年7月以降の新商品(温水機器及び厨房機器)より、REACH規則で定められた化学物質の含有状況を管理し、EU向け商品だけでなく、国内向け商品に対しても情報開示ができるようにします。
- (3) 有害物質の低減及び含有情報の精度向上を図るために、化学物質管理システムの構築、化学物質監査等を通じてサプライヤーとのコミュニケーションを積極的に行い、グリーンサプライチェーンの強化に取り組みます。

4. 製品・事業活動を通じて資源循環型社会の構築に積極的に取り組みます。

- (1) 生産活動に伴い発生する廃棄物について、事業所外に排出する量を2016年までに60%以上削減することを目指します。(国内生産事業所2007年比)
- (2) ノーリツグループの国内生産事業所のリサイクル99%以上とする取り組みを継続し、海外生産事業所においても2012年までに99%以上とすることを目指し、その後継続します。

株式会社ノーリツは、上記取り組みの進捗状況を確認し、環境省に報告するとともに、環境社会報告書などで定期的に公表します。

新しい幸せを、わかすこと。



- ・ エコ・ファースト制度とは、業界トップランナー企業の環境保全を更に促進していくため、企業が環境大臣に対し自ら環境保全に関する取り組みを約束する制度です。
- ・ エコ・ファースト推進協議会 設立(2010年)
エコ・ファースト企業の認定を受けている38社が「エコ・ファーストの約束」の確実な実践と連携して先進性・独自性に富む環境保全活動を行なうことを目的に設立した協議会であり、ノーリツも参加しています。
- ・ 2012年3月22日に目標の見直しを行い、「エコ・ファーストの約束」を更新しました。

エコ・ファーストの約束

1.製品を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。(P19～P28参照)

- (1) 高効率温水機器(潜熱回収型、等)と創エネルギー機器(太陽熱利用機器、太陽光発電システム等)の開発と普及に積極的に取り組み、2016年までに、従来型ガス石油温水機器に比べ、家庭の使用時のCO₂排出量を20万t/年削減することを目指します。(2000年比)
- (2) 高効率温水機器及び、創エネルギー機器の開発推進とそれぞれの特長を活かした普及促進に積極的に取り組みます。
※設置条件により高効率温水機器を設置できない場合は除く。
- (3) グリーンプロモーションを強化し、「CO₂の見える化」など製品ライフサイクルを見すえた適切で具体的な商品・サービスの環境情報をお客さまにわかりやすく提供していく取り組みを積極的に推進します。

高効率温水機器(潜熱回収型、等)と創エネルギー機器(太陽熱利用機器、太陽光発電システム等)の開発と普及拡大により、製品使用時のCO₂を順調に削減しています。

●高効率ガスふろ給湯器

GT-C(V)**52シリーズ
(2012年発売)



●太陽熱利用ガス給湯暖房システム

スカイピアECOハイブリッド
XFシリーズ

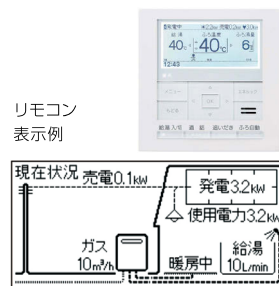


●太陽光発電システム

PVMDシリーズ

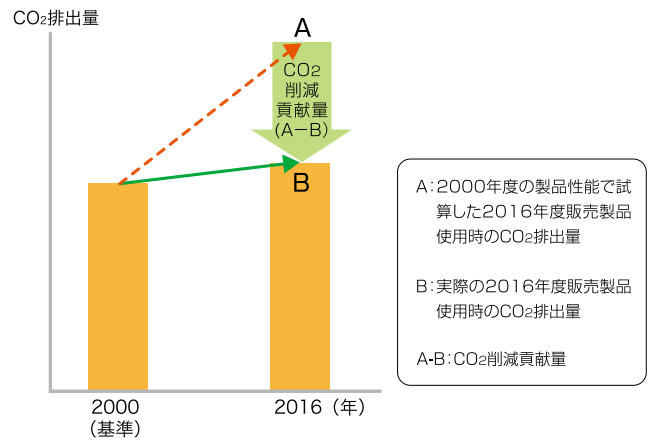


●高機能リモコン



高効率給湯器との併用で光熱費の「見える化」を実現(業界初)

■製品によるCO₂削減貢献量

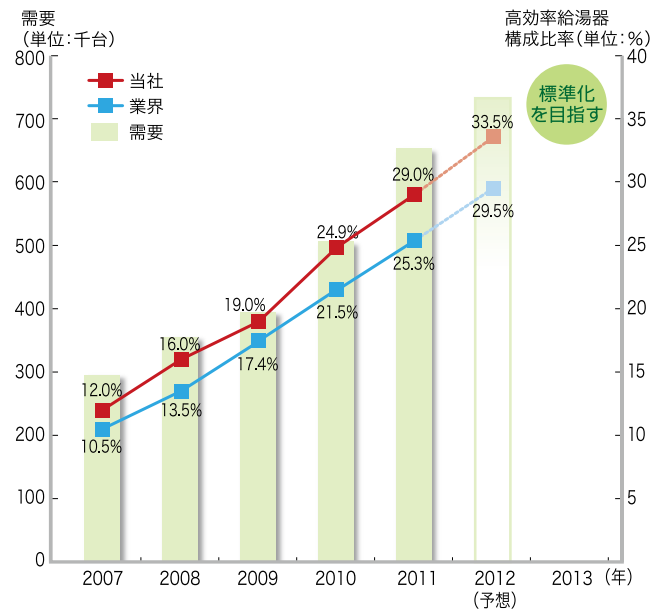


ノーリツでは、CO₂削減貢献量を2016年に20万t/年をすることを目標とします。2011年のCO₂削減貢献量は8.2万t/年になりました。(2000年比)

CO₂削減貢献量20万t/年は、家庭からの(自家用車含む)CO₂排出量*、4万世帯分に該当します。

*温室効果ガスインベントリオフィス(2008年値)より、5.04t-CO₂/年/世帯

■高効率給湯器 構成比率



新エネルギー分野(太陽光、太陽熱関連)を加速

新エネルギー分野(太陽光、太陽熱関連)の新たな研究開発棟として「環境機器開発センター」(2011年11月)、施工に必要な実技・知識を習得するための研修施設「新エネルギー商品研修センター」(稼動2011年2月)を新設し、製品を通じての低炭素社会への貢献を加速していきます。



環境機器開発センター



新エネルギー商品施工研修センター
(施設内部に模擬屋根を設置)



ショールームイベント
「太陽まるごと! エコ生活提案会」

2. 事業活動を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。(P.31~P.32参照)

国内事業所におけるCO₂総排出量を2016年までに20%以上削減、2020年までに25%以上削減することを目指します。(2002年比)

「省エネ・マネジメント体制」を強化し、設備導入と業務改善の両輪で、計画的に国内生産事業所におけるCO₂総排出量を削減しています。



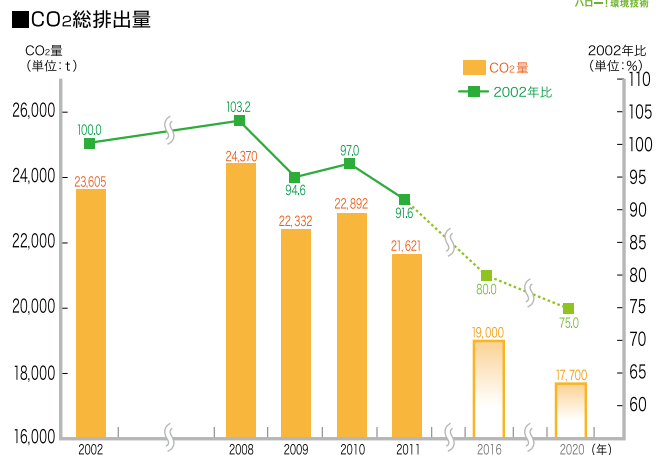
省エネ診断/NAM事業所



省エネ・節電パトロール/NAM事業所



ノーリツグループは
地球温暖化防止を推進します



2011年夏の節電についてのエコ・ファーストの約束

ノーリツグループは、東日本大震災による東京電力・東北電力管内の電力供給不足に対して、電気事業法第27条(※1)が適用される関東・東北地方だけでなくすべての生産事業所・事務系事業所で次の目標を掲げ、2011年5月に環境大臣と「夏の節電についてエコ・ファーストの約束」を交わしました。(期間:7月~9月、2010年比)

- 最大電力(ピーク)を15%以上削減することに努めます。
- 最大1日当たりの電力量を15%以上削減することに努めます。
- 最大月当たりの電力量を15%以上削減することに努めます。

設備面では太陽光発電システムの設置、照明のLED化等を実施しました。運用面では節電説明会・パトロールを実施するとともにスーパークールビズの実施、空調・照明・その他電力使用設備(自動販売機、冷蔵庫、コピー機、パソコン、エレベーター等)の使用制限を強化しました。

結果、概ね目標を達成することができました。

※1 電気事業法第27条

1. 内容

- ①使用最大電力(ピーク)の値の15%削減した値を使用電力の上限とする。
- ②使用最大電力とは、2010年7月~9月における、使用最大電力(1時間単位)をいう。
- ③故意の使用制限違反は100万円以下の罰金

2. 対象者

- ①東京電力及び東北電力並びに供給区域内の特定規模電気事業者と直接供給契約を締結している大口需要家(契約電力500kW以上)

3. 制限期間・時間帯

- ①2011年7月1日~9月9日 平日9:00~20:00

ECO FIRST

2011年夏の節電についてのエコ・ファーストの約束

環境大臣 松本 龍蔵 平成23年5月18日

株式会社ノーリツ
代表取締役社長 岡井 純一郎

ノーリツグループは、関東地方及び東北地方における2010年7月~9月の最大電力(ピーク)に対して、本年7月~9月の最大電力(ピーク)を15%以上削減すべく、以下の取組を進め、節電に努めます。また、前年度の最大の1日当たりの電力量に対しても、今年の最大の1日当たりの電力を15%以上削減されるよう努めます。上記、対象事業所だけでなく、全社的にも節電の取組を推進していきます。

- 1. 共通の対策 (工場:3事業所、支店・営業所:27事業所)**
 - (1)空調設備の使用制限(温度設定、運転・停止時間設定、不要時の停止の徹底)により、電力使用を抑制します。
 - (2)高効率の空調設備の導入により、電力使用を削減します。
 - (3)照明設備の更新(調光機能付)は、不要時の消灯の徹底により、電力使用を削減します。
 - (4)高効率の照明設備(LED照明)の導入により、電力使用を削減します。
 - (5)その他の電力使用設備(自動販売機、冷蔵庫、パソコン、コピー機、プリンター、エレベーター、温水洗浄便座等)についての節電に努めます。
 - (6)電力使用システムにより、電力使用状況を見える化し、電力使用を抑制します。
- 2. 工場対策 (3事業所)**
 - (1)生産業務上の、生産設備の一部停止等により、生産に必要な電力使用を抑制します。
 - (2)生体日(休日・祝日)及び生産時間(朝・昼・夜)の変更、一斉稼働の実施等により、平日及び昼間の電力使用を抑制します。
 - (3)太陽光発電パネルを設置します。
- 3. 支店・営業所の対策 (27事業所)**
 - (1)可能な範囲では、勤務日(休日)の勤務及び勤務時間(早朝・遅番)の変更、一斉稼働の実施等により、平日及び昼間の電力使用を抑制します。
 - (2)広電・看板の照明の消灯・時間短縮を実施します。
- 4. ノーリツグループ全体に展開する対策**
 - (1)クールビズを早稲より実施し、冷房設定温度の徹底、服装の軽微化を実施します。
 - (2)可能な範囲では、勤務時間の変更、勤務時間、休日短縮・分限、夏季休暇取得等を実施し、また一斉稼働を実施します。
 - (3)上記①~③の対策について、実施可能な対策については、積極的に対応します。
 - (4)節電チェックリストにて実施、実施状況を把握し、改善への取組を行い、部門別に選出した推進員により、チェックリストを実施し、改善を推進します。
 - (5)関係省庁と連携し、他の外部ツールサービスを活用するための情報提供も積極的に行います。
- 5. お客さまへの節電・省エネの取組の支援**
 - (1)ショールームに「節電・省エネ相談窓口」を設置し、お客さまの節電・省エネに対する支援を行います。
 - (2)中小企業一斉節電活動(エコファースト)の一環として、節電活動に関する取組について、節電支援を実施します。
 - (3)節電推進チェックリスト(家計用)をショールームにも設置し、お客さまに「節電」への取組をお勧めします。

株式会社ノーリツは、上記取組の進捗状況を確認し、環境省に報告するとともに、環境社会報告書などで公表します。

NORITZ

【夏の節電結果】

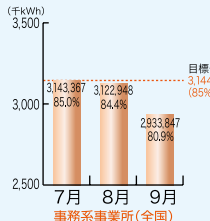
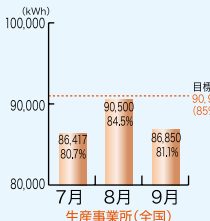
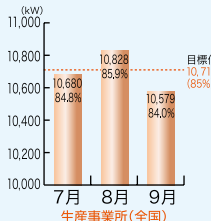
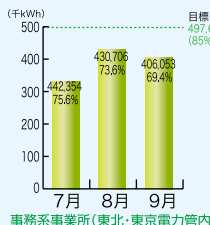
■最大使用電力(ピーク)(kW)【目標:85%以下】



■最大電力使用量(kWh/日)【目標:85%以下】



■電力消費量(kWh/月)【目標:85%以下】



節電説明会

3. 法規制を先取りした化学物質管理を強化し、環境汚染リスクを低減します。(P29~30参照)

自主的な取り組みとして2006年から導入している有害物質対応商品を2016年までに販売構成比80%以上になるように開発と普及に積極的に取り組みます。

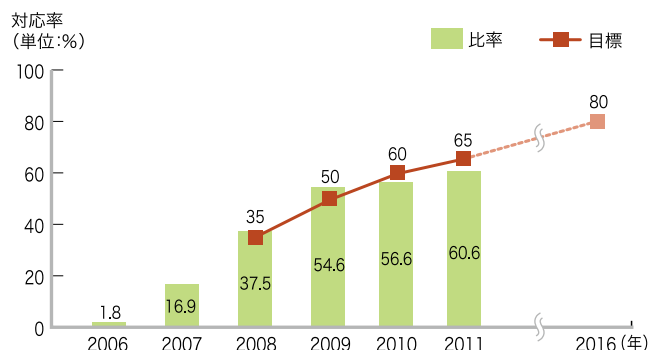
- ※有害物質対応商品：RoHS指令対象6物質にノーリツ独自の13物質を加えた19物質を基準濃度以下にした商品。
- ※RoHS指令：電機・電子機器に含まれる特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、特定臭素系難燃剤2種）を使用禁止。温水機器及び厨房機器は対象外であり、ノーリツグループにおいては自主的な取り組み。
- ※温水機器、厨房機器、ソーラー機器、暖房機器、コージェネレーション機器が対象。

2010年7月以降の新商品（温水機器及び厨房機器）より、REACH規則で定められた化学物質の含有状況を管理し、EU向け商品だけでなく、国内向け商品に対しても情報開示ができるようになります。

※REACH規則：化学物質の登録、評価及び制限に関する規則

REACH規則で定められた化学物質の含有状況調査については、引き続き新たな機種を選定し、化学物質の含有状況の把握を行っています。仕入れ、販売を含めたサプライチェーン全体での化学物質の含有状況把握を進めています。当社は今後も化学物質の含有状況管理を進め、情報開示の体制構築を進めていきます。

■有害物質対応商品の販売構成比の推移



有害物質対応商品の販売構成比は年々増加させています。しかしながら、近年は増加の伸びが鈍化してきており、再度、開発・販売・サプライチェーン全体での取り組みに努力していきます。



サプライヤーへの説明会

4. 製品・事業活動を通じて資源循環型社会の構築に積極的に取り組みます。(P33~P34参照)

生産活動に伴い発生する廃棄物について、事業所外に排出する量を2016年までに60%以上削減することを目指します。(国内生産事業所2007年比)

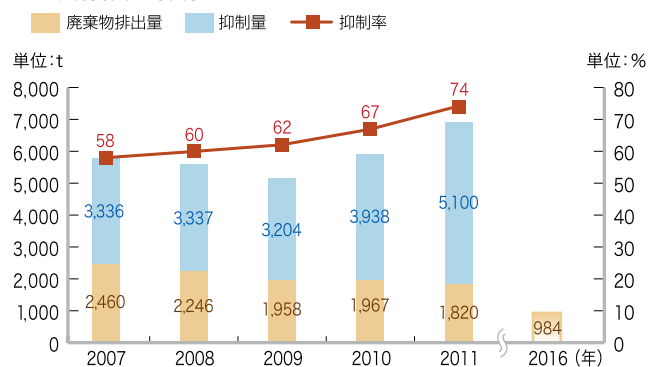
ノーリツグループの生産事業所（国内事業所）での廃棄物排出量（処理費用が発生する廃棄物が対象）の削減に取り組んでいます。

2011年も生産量の増加や内製の拡大により廃棄物発生量（廃棄物の全体の量）は約1000t増加していますが、廃棄物排出量は150t弱削減することが出来ました。削減率も、2007年度比26%に上げています。今後もさらに、資源循環型社会を構築できるよう廃棄物排出量の削減活動に取り組んでいきます。

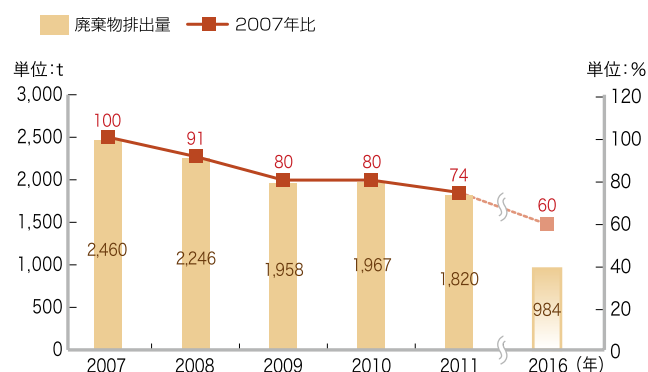
ノーリツグループの国内生産事業所のリサイクル99%以上とする取り組みを継続し、海外生産事業所においても2012年までに99%以上とすることを目指し、その後継続します。

- 国内生産事業所では、2004年以降、リサイクル率99%以上（ゼロエミッション）を継続しています。(P33参照)
- 海外生産事業所（中国2事業所）でのゼロエミッションについては、能率（上海）住宅設備有限公司ですでにゼロエミッションを達成しています。東莞大新能率電子有限公司についても、2012年中に達成する予定です。(P33参照)

■廃棄物排出量・抑制量



■廃棄物排出量・削減率



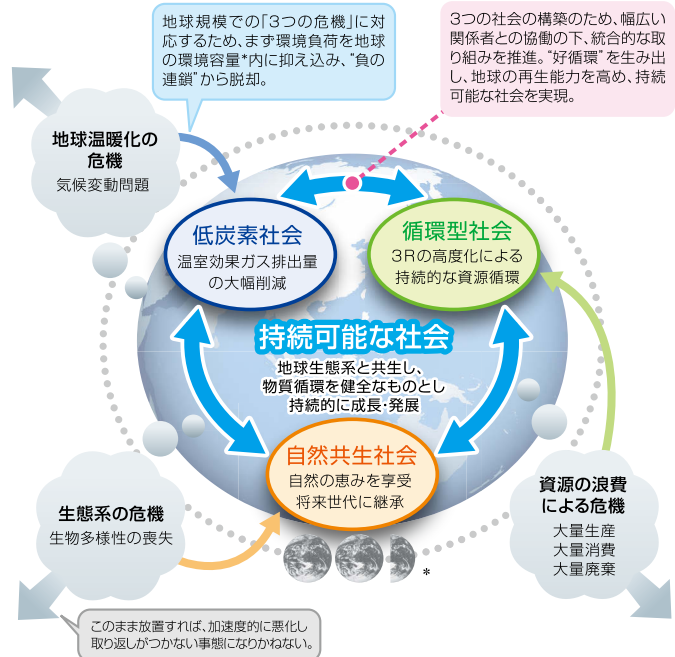
製品を通じた環境負荷低減

製品・サービスの環境配慮

2011年は、東日本大震災・福島第一原子力発電所事故という未曾有の大災害に見舞われ、我が国では経済成長と温室効果ガス削減をどのように両立させていくか、ゼロベースでの見直しを余儀なくされています。しかし一方で、地球規模での環境問題は深刻化し続けており、目標と現実とのギャップはますます拡大しています。技術立国日本として、そのギャップを埋め、「持続可能な社会」を実現するには、技術革新しかないと考えます。

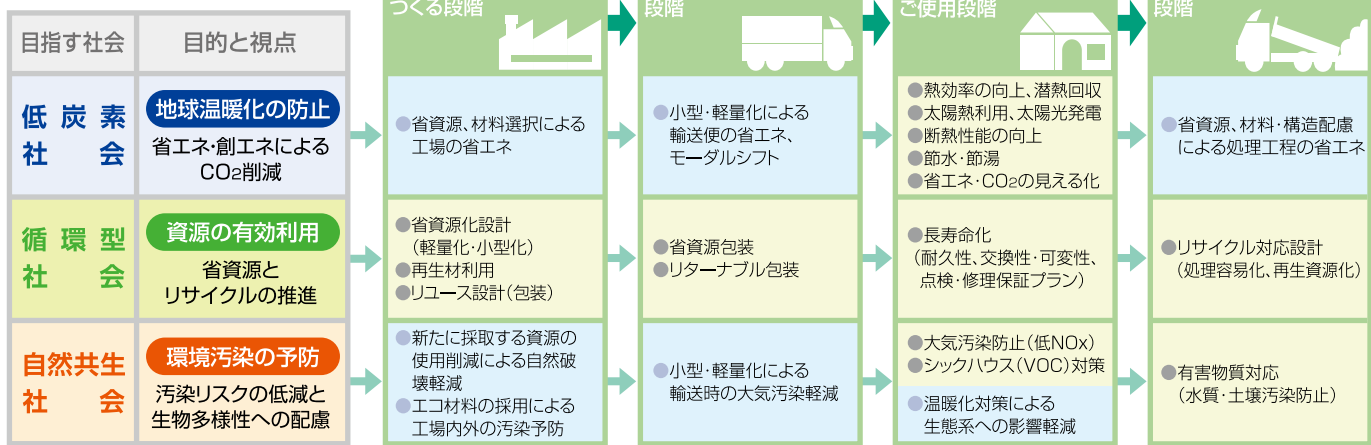
ノーリツグループは、「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の構築に、環境技術・ものづくりを通じて貢献してまいります。そのために、「地球温暖化の防止」「資源の有効利用」「環境汚染の予防」の3つの視点を軸に、製品ライフサイクルの全てのステージで環境負荷を低減した製品づくりを推進します。

* 地球の環境容量を表す指標「エコロジカル・フットプリント」によると、現在の人間の活動を将来にわたって持続するためには、世界中が日本人の生活をする場合は地球が2.5個必要であり、世界中が現状のままの生活をする場合は1.25個必要であると見積もられています。(WWF「Living Planet Report 2006」に基づく、環境省作成資料(07)より)



製品ライフサイクルでの環境配慮

私たちの取り組みと
ライフサイクルステージ

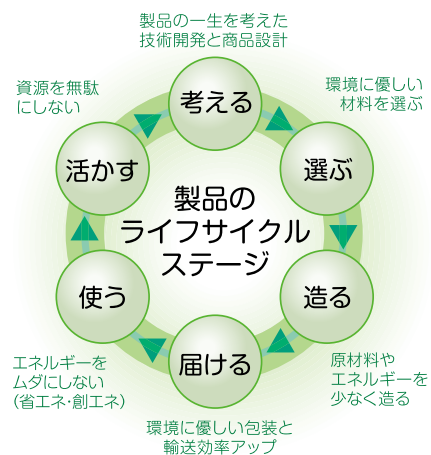


どのような製品でも、全てのライフサイクルステージで、環境に様々な影響を与えています。持続可能な社会を構築するための課題は温暖化だけではありません。温暖化の防止とともに、資源の有効利用や汚染の予防(環境保全)を統合的に進める必要があります。

当社では、ライフサイクル全体での環境負荷総量を可能な限り小さくし、機能や経済性など全てに満足して頂ける商品をお届けできるよう、技術開発や商品の企画・設計段階から、製品の一生を考えて全体最適に取り組んでいます。1つの環境性能の向上がコベネフィット(相乗便益)を生み出せば問題ありませんが、トレードオフの関係になる場合も多く、社会状況で優先度も刻々と変化するため、ライフサイクルにわたる各環境性能の総合的な評価結果に基づき、如何に重み付けを行って判断するかが益々重要になっています。

近年は、食品・日用品等で先行実施されている「カーボンフットプリント」などの温暖化に特化した指標・ラベルが潮流となりつつありましたが、現在、欧州で検討されている「環境フットプリント(Environmental Footprint)」では多くの環境影響評価が必要とされています。いずれも、ライフサイクルでの環境影響を評価する根幹となるのがLCA*ですが、現段階では必ずしもベストな手法とは言えません。当社では、環境適合設計を進化させるとともに、製品ライフサイクルでの環境性能を、どのように定量化しお客さまに伝達して行くべきか、再度検討を進めていきます。

ライフサイクル・シンキング



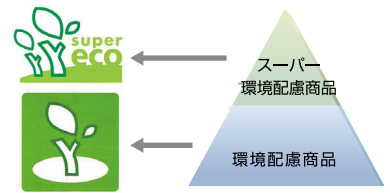
●製品の環境情報開示への取り組み ～ノーリツ環境配慮商品～

当社では、独自の自主基準(従来比較&絶対値評価)を満足したものを「ノーリツ環境配慮商品」として認定し、その製品の環境配慮の内容をシンボルマークとともに開示する制度を2000年4月より導入しています。また、その中から、業界トップレベルの環境性能を有し、LCA*評価の結果、ライフサイクル全体でCO₂排出量を10%以上削減(基準製品(00)比)した製品を「ノーリツスーパー環境配慮商品」として自己認定する制度も2005年4月より導入しました。

お客さまの環境意識の高まりに応え、環境に配慮した商品をご購入頂くためには、商品の環境情報を、総合的に、わかりやすく、具体的かつ定量的に提供することが不可欠であると考えています。当社では、カタログやホームページ等で、「ノーリツ環境配慮商品マーク」「ノーリツスーパー環境配慮商品マーク」を表示し、環境配慮に関する具体的な内容を提供しています。

(*) LCA(ライフサイクルアセスメント)とは、資源採取～製造・組立～輸送～使用～廃棄・リサイクルに至る各段階で、製品が環境に与える負荷を定量化し総合評価する手法です。

■ 当社独自のシンボルマーク



※情報の透明性と信頼性を確保するために、環境配慮商品の訴求に関するISO規格である、「タイプII環境ラベル～自己宣言による環境主張～」:ISO14021に準拠した情報提供に努めています。

Web 環境配慮商品の基準や商品一覧は

URL: <http://www.noritz.co.jp/csr/ecoproduct/>

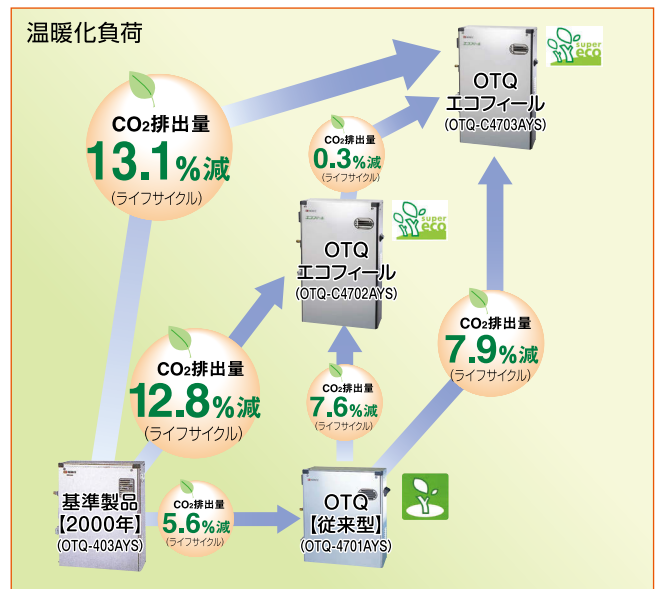
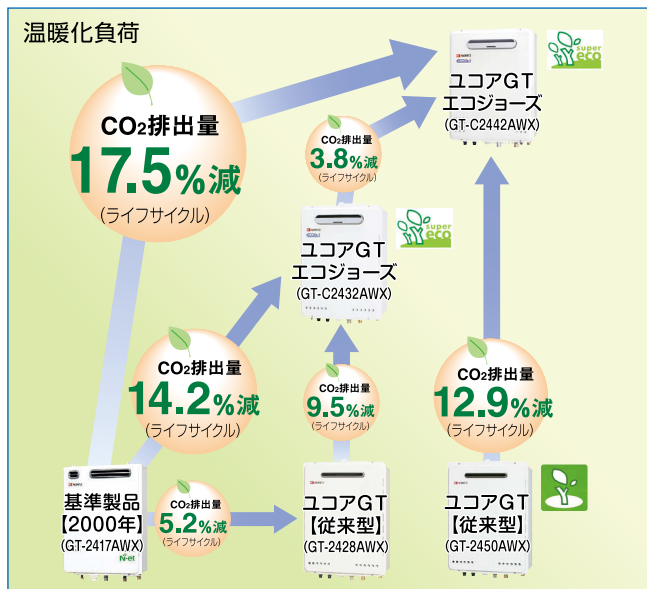
LCA評価と結果の開示

■ ガス温水機器(例)

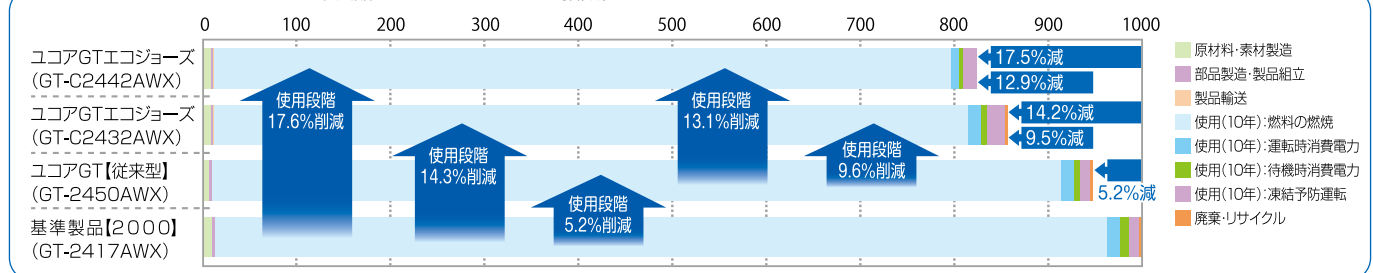
製品愛称	ユコアGTエコジョーズ (潜熱回収型 ガスふろ給湯器)	
機種名	GT-C2442 AWX-MB 〔潜熱回収:給湯・ふろ〕	2010年春 発売
	GT-C2432 AWX (-E) 〔潜熱回収:給湯〕	2007年秋 発売
製品愛称	ユコアGT (従来型 ガスふろ給湯器)	
機種名	GT-2450 AWX	2008年秋 発売
	GT-2428 AWX	2004年春 発売
基準製品名 (2000年モデル)	GT-2417 AWX	2001年秋 発売

■ 石油温水機器(例)

製品愛称	エコフィール (潜熱回収型 直圧式石油ふろ給湯機)	
機種名	OTQ-C4703 AYS 〔潜熱回収:給湯・ふろ〕	2011年春 発売
	OTQ-C4702 AYS 〔潜熱回収:給湯・ふろ〕	2007年秋 発売
製品愛称	(従来型 直圧式石油ふろ給湯機)	
機種名	OTQ-4701 AYS	2004年春 発売
基準製品名 (2000年モデル)	OTQ-403 AYS	1998年 発売



温暖化負荷(CO₂排出量):基準製品のCO₂を1000として指数化



製品を通じた環境負荷低減

製品の省エネルギー・地球温暖化防止

●製品によるCO₂排出量の削減(温水機器・太陽エネルギー利用機器)

ノーリツグループの設備機器がそのライフサイクルで排出する温室効果ガス(CO₂)は、大部分が使用段階から排出されます。当社では、低炭素社会の構築に向け、お客さまの快適性・利便性を損なうことなく、各世帯の住まい方の実情に合わせた温暖化対策と節電・ピーク電力対策に資する多様な設備機器を提供できるよう、高効率温水機器のラインナップの拡充と更なる性能向上に取り組むとともに、再生可能エネルギー利用機器(太陽熱利用システム、太陽光発電システム)等の商品開発に取り組んでいます。

高効率温水機器で省エネ・CO₂削減



●ガス潜熱回収型 給湯器／ふろ給湯器／給湯暖房機

●ガスふろ給湯器

ユコアGT-C**32(-E)シリーズ

エコ3エコ2
排熱は有効利用され、約50℃まで下がります。

排気：約50℃

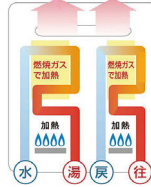


CO₂削減量
170kg
(/台/年)

給湯熱効率 80%⇒95%
ふろ熱効率 75%⇒79.4%

●ガスふろ給湯器“2つのエコ”

ユコアGT-C**42シリーズ
ユコアGRQ-C**42シリーズ



CO₂削減量
187kg
(/台/年)

給湯熱効率 80%⇒95%
ふろ熱効率 75%⇒90%

●ガスふろ給湯器

(スリムタイプ)
GT-C**43シリーズ

給湯熱効率 80%⇒95%
ふろ熱効率 75%⇒80.5%

CO₂削減量
172kg
(/台/年)

●ガスふろ給湯器

(外壁貫通設置形)
GTS-C164Aシリーズ

給湯熱効率 80%⇒95%
ふろ熱効率 75%⇒76.3%

CO₂削減量
164kg
(/台/年)

●ガスふろ給湯暖房機

ユコアGTH-C
GTH-C(P)**48シリーズ
GTH-C(P)**47シリーズ

ユコアGTH-C
(コンパクトタイプ)
GTH-C**46シリーズ



給湯熱効率 80%⇒95%
暖房熱効率(低温、高温) 80%⇒89%、85%

CO₂削減量
252kg
(/台/年)

●ガス給湯器

ユコアGQ-C_WX
GQ-C**32シリーズ

給湯熱効率 80%⇒95%

CO₂削減量
171kg
(/台/年)

ユコアGQ-C_WS
GQ-C**33シリーズ

給湯熱効率 80%⇒90%

CO₂削減量
121kg
(/台/年)

●業務用ガス給湯器

ユコアPRO
GQ-C3222WZ-1
GQ-C5022WZ

給湯熱効率 80%⇒95%



ユコアPRO
GQ-C2422WZD-FH
GQ-C1622WZD-FH

給湯熱効率 80%⇒95%



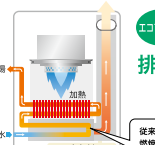
●石油潜熱回収型(直圧式)給湯機／ふろ給湯機

●石油ふろ給湯機

OTQ-C4703(S)AY(S)
OTQ-C4702AFF

給湯熱効率 83%⇒95%

CO₂削減量
188kg
(/台/年)



エコ燃料
排熱は利用され、約60℃まで下がります。
排気温度：約60℃

●石油給湯機

OQB-C4701WS
OQB-C4703Y(S)

給湯熱効率 83%⇒95%

CO₂削減量
180kg
(/台/年)

●業務用石油給湯機

OQB-C4701WZS
OQB-C4701WZFF

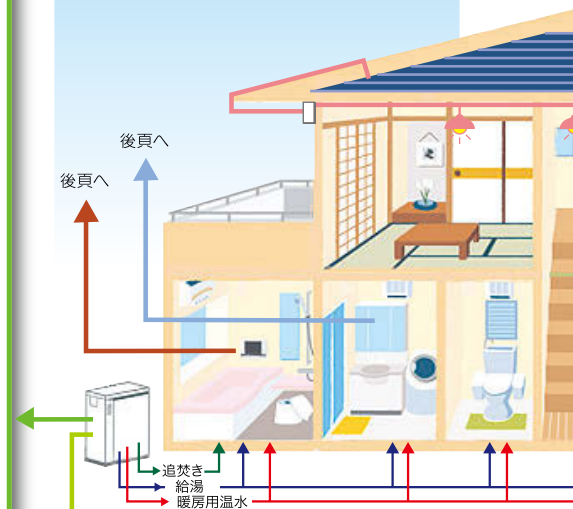
給湯熱効率 84%⇒96%



家庭からの

CO₂をへらそう

ノーリツグループの省エネルギー製品に買い替えて頂くことで、家庭の「給湯・暖房・キッチン・水道」からのCO₂を約50%削減出来ます(図合算)。更に創エネルギー製品(太陽光発電)の設置により、「照明・家電製品等」からのCO₂の大半を削減出来ます。



(注) パルーンのCO₂削減量は、4人家族を想定した2000年頃の製品との比較(※)。(太陽熱利用機器は、従来型ガス給湯器との比較)
※ 算定条件の詳細はHPに掲載

ガスで森をつくる。200万台と200万円。



ブルー&グリーンプロジェクト



(財)ベターリビングの主催する上記プロジェクトに参加し、BL-bs認定の高効率ガス機器・太陽熱利用システムの普及と植樹活動に協力しています

家庭用コージェネレーションで省エネ

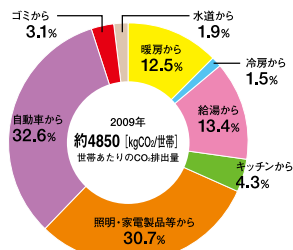
●家庭用ガスエンジン コージェネレーションシステム



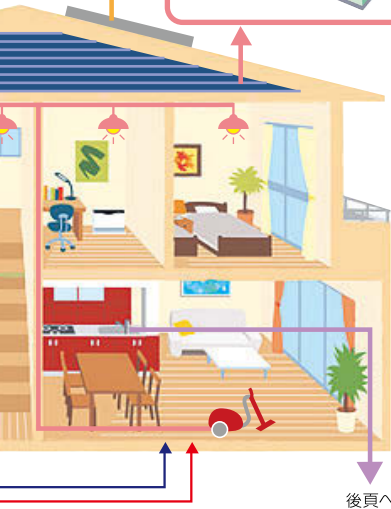
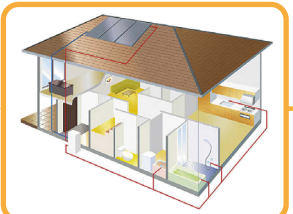
当社は、排熱利用給湯暖房ユニット「SG-GTH2404AD」を開発・生産しています



家庭からの二酸化炭素排出量



出所: 温室効果ガスインベントリオフィス
「日本の1990~2009年度の温室効果ガス排出量データ」
2011.4.26発表



後頁へ

太陽エネルギー利用(太陽熱)で創エネ・CO₂削減

● 太陽熱利用システム

● 太陽熱利用ガス給湯システム (熱源一体型ソーラーシステム)

CO₂削減量
500kg
(/台/年)

ECOハイブリッドシリーズ

VFシリーズ[VF-4140-BL]
(集熱面積4㎡)
ガスふろ給湯器内蔵



給湯エネルギー消費量
約20~56%削減



● 太陽熱利用ガス給湯暖房システム (熱源一体型ソーラーシステム)

CO₂削減量※
570kg
(/台/年)

ECOハイブリッドシリーズ

SOLAMO

XFシリーズ[XF-4090・3090・2090(H)-1-BL]
(集熱面積4~2㎡)
ガス潜熱回収型給湯暖房機内蔵



ECOジョーズ

給湯エネルギー消費量※
約35~63%削減

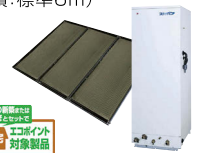


※ 集熱面積4㎡での値(暖房利用含まず)

● ソーラーシステム(強制循環型)

UFシリーズ
(集熱面積:標準6㎡)

CO₂削減量
670kg
(/6㎡/年)



給湯エネルギー消費量
約30~73%削減



● 太陽熱温水器(自然循環型)

SJシリーズ
(集熱面積:標準3㎡)

CO₂削減量
380kg
(/3㎡/年)



給湯エネルギー消費量
約15~44%削減

小規模業務用
太陽熱パッケージ
(集熱面積:最大16㎡)



SKYPIA PRO

(注) 給湯エネルギー消費量の削減率は、住宅事業建築主の判断基準(省エネ法)での地域区分別(Ⅰa~Ⅵ)評価に基づく値。CO₂削減量は、当社試算値(東京地区)。

太陽エネルギー利用(太陽光)で創エネ・CO₂削減

● 太陽光発電システム

CO₂削減量
1,278kg
(/4kW/年)

CO₂削減量
974kg
(/3kW/年)

太陽電池モジュール



PVMDシリーズ(多結晶)

接続箱



PVPC-5501-N, 他

パワーコンディショナ



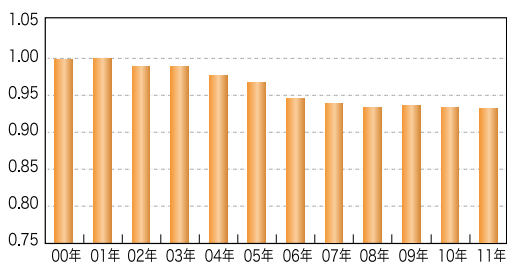
PVJB-S0301-A, 他

分電盤へ

(注) CO₂削減量は、1戸当たりのシステム容量:4.0kWと3.0kWを想定し換算(東京地区、真南30°) < J E P A 表示に関する業界自主ルールに準拠 >

大部分が省エネ法の特定機器に指定されている温水機器では、機器の運転時(燃焼時)におけるエネルギー消費効率(熱効率)の向上を最優先に取り組むとともに、機能部品の仕様見直し(循環ポンプのDC化や構造・制御の最適化、駆動部品の低電圧化、等)を行い、運転時の消費電力削減にも取り組んでいます。(待機時消費電力削減は次頁に記載)

■ 温水機器1台当たりのCO₂排出量の推移
— 6.8%削減(対2000年比) —



(注) CO₂排出量の算出は、当社試算による。

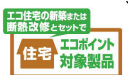
[注] ここでのCO₂排出量の算出対象製品は、ガス石油温水機器(従来型および潜熱回収型)のみです。

2011年は、温水機器分野では、ガスふろ給湯暖房機や石油ふろ給湯機、及び業務用ガス給湯器を中心に、積極的に潜熱回収型温水機器のラインナップの拡充を行い、拡販に努めてきました。

また、従来型温水機器の技術開発(更なる高効率化)と商品展開にも取り組んできたことにより、2011年度の販売製品1台当たりのCO₂排出量は、2000年度(1.04t-CO₂/年)に対し、6.8%削減しています。

■ 復興支援・住宅エコポイント

エコ住宅の新築またはエコリフォーム(断熱改修)と併せて、「太陽熱利用システム※」を設置される場合、エコポイントが追加発行されます。
(※住宅エコポイント事務局に登録された製品が対象です)



■ 太陽熱利用ガス給湯暖房システムが、第7回エコプロダクツ大賞*1を受賞

2010年11月、貯湯ユニット「SS-GTHC2400AD」+ 集熱器「SCQ-201」(=当社システム名称「XF-4090-BL」)が、「太陽熱利用ガス温水システム「SOLAMO(ソラモ)*2」)として、第7回エコプロダクツ大賞(エコプロダクツ部門)の「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)」を受賞しました。(ガス会社様等との9社共同受賞)



*1:エコプロダクツの更なる普及を目的とした環境負荷の低減に配慮した優れた製品・サービス(エコプロダクツ)の表彰制度(2004年創設)。
*2:東京ガス様の登録商標。

製品を通じた環境負荷低減

CO2・省エネ情報の「見える化」と運転制御による省エネ (温水機器・太陽エネルギー利用機器)

家庭からのCO2削減においては、我慢の省エネではなく、持続可能な対策が不可欠です。メーカーとして、機器の省エネ性能向上に最優先で取り組みむとともに、お客さまが十分だと感じて頂ける範囲で稼働し必要以上のエネルギー使用を抑えることも大切になっています。

当社では、お客さまが、無理なく・楽しく・自然に、省エネに配慮した運転を実施され、その削減結果(効果)を確認して頂けるよう、各種のナビゲーション機能を搭載したりリモコンと対応機種種のラインナップ拡大を図るとともに、お客さまが能動的に設定できる各種の省エネ運転モードの搭載も進め、運用面での省エネ・CO2削減行動をサポートします。

省エネナビゲーション機能の搭載

当社では、お客さまに情報を提供する際の、分かり易さ・丁寧さ・確認のし易さ・即時性などを考慮し、ナビゲーション機能の改善を進めています。家庭内のエネルギー使用量(ガス/灯油・水・電気)をお客さまに大きな費用負担をお掛けすることなく「見える化」し、お客さまの省エネ意識の醸成と省エネ行動を支援するよう取り組んでいきます。

〔ガス石油温水機器〕

進化

「エネルギー」とは、温水機器で使用したガス・お湯(水)の使用量をリモコンに表示する機能(「エネガイド」と、それに加えて電気使用量(家庭内全体)もリモコンに表示する機能を包括した名称です。2006年、名称が「エネルギー」に統一されました。
・「省エネナビ」とは、(財)省エネルギーセンターが定めた一定の条件(電力使用量(実績と目標)と金額換算を表示可能。等々)を満たした機器システムで、同センターに認可・登録されたものです。

省エネナビ : 「省エネナビ」登録商品(12.2現在)

「メニュースイッチ」で「エネガイドメニュー」を呼び出し、「選択スイッチ」で確認。

「エネガイドスイッチ」と「選択スイッチ」で確認。
○ガス(灯油)○お湯の目安使用量/料金の実績値と比較表示(日・月・年、対目標)

エネガイドリモコン

RC-7501MEシリーズ 他

(台所リモコン)

〔蛍光管ドットマトリクス表示〕

選択スイッチ
エネガイドスイッチ

エネガイドリモコン

RC-8001シリーズ
(台所リモコン)

〔蛍光管ドットマトリクス表示〕

・ドット数約3倍で、更に見やすくグラフィック表示も多用
・目標達成度のマーク表示導入
・CO2削減貢献度表示※導入
(※高効率給湯器のみ)

RC-8058P

(台所リモコン)

省エネナビ

エネガイドメニュー

選択スイッチ

メニュースイッチ

エネルギーリモコン

RC-9001シリーズ他

(台所リモコン)

エネルギーリモコン (エコスイッチ搭載)

RC-E9001シリーズ

(台所リモコン)

〔液晶ドットマトリクス表示(ホワイトバックライト液晶)〕

・コントラストを強調したドットマトリクスで、更に見やすく
・エネルギースイッチ搭載、直感的にわかりやすい操作を実現
・電気(※)・光熱費の目安使用量/料金も表示可能
・目標達成度の状況をマーク表示と報知音でお知らせ
・CO2削減貢献度表示※もリニューアル(※高効率給湯器のみ)



▲▼ボタン(給湯温度スイッチ)

エネルギー表示(エネルギー使用量)
「省エネマーク」(目標達成状況をマーク表情で表示)
「エコポイント表示」(CO2削減量を木の大小で表示)

2002

2003 2004

2005 2006

2007

2008 2009

2010 2011

トップ画面にその時刻の使用量を表示し、いつでも確認。
詳細は「エネルギースイッチ」と「十字キー」で確認。
待機中も一定間隔で、アニメーションとガイダンス(文字)で料金や節約状況を表示。

トップ画面に今日の目安目標値に対する使用割合をバーグラフ表示し、いつでも確認。「エネルギースイッチ」で昨日と今日の実績を確認。

(※)電力表示には、「電力測定ユニット(別売)」が必要です

省エネ運転モードの搭載

〔(変遷例)ガスふろ給湯暖房機〕

進化

「湯セーブスイッチ」

SW-ONで、給湯が省エネ運転モードに

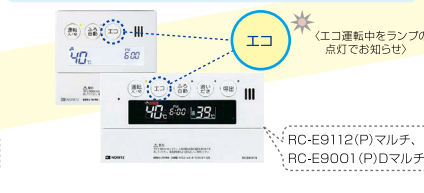
①給湯運転…出湯量を制限(6L/8L/10L/12L)



「エコスイッチ」

SW-ONで、以下の3つが省エネ運転モードに

- ①給湯運転…出湯量を制限(8L/10L/12L/制限無)
- ②ふろ自動保温運転…ふろ設定温度の-1°Cで保温
- ③床暖房運転…床暖房の温水を通常より-5°Cで運転



「エコスイッチ」が進化

高機能リモコン「RC-C001シリーズ」では、表示画面内の「エコ設定」-「入」で、この5つの省エネ運転モードに



SW-ONで、さらに以下の2つも省エネ運転モードに

- ④給湯運転…設定温度の-1°Cで出湯
- ⑤ふろ自動お湯はり…設定水位より若干少ない湯量で自動ストップ(-1cm/-10L)

2007

2008 2009

2010 2011

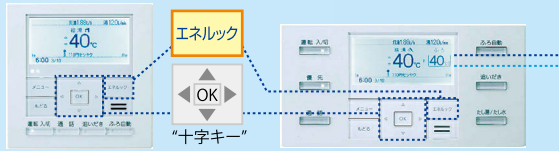
2012

当社では、温水機器・太陽熱利用システムへの省エネ運転モードの搭載を進めています。2007年、ガス潜熱回収型ふろ給湯暖房機「GTH-C**38シリーズ」の標準リモコンに「湯セーブスイッチ」を搭載しました。2009年には、機能を拡大し進化させた「エコスイッチ」を搭載したリモコンを開発し、後継機である「GTH-C**46シリーズ」に、2010年には「GTH-C(P)**47シリーズ」に設定しました。一方、ガス潜熱回収型ふろ給湯器では、2010年に「GT(GRQ)-C**42シリーズ」、2011年には「GT-C**32-Eシリーズ」に設定し、2011年春には石油潜熱回収型ふろ給湯機の新製品「OTQ-C4703シリーズ」にも設定を開始するなど、その設定機種を拡大しました。また、2011年秋には更に機能を拡大させた「エコスイッチ」を搭載したリモコンを発売し、ガス潜熱回収型ふろ給湯暖房機の新製品「GTH-C(P)**48シリーズ」に設定しています。

ガス石油温水機器では、2002年にガスふろ給湯器「GT/GRQ-**17, **27シリーズ」、ガスふろ給湯暖房機「GTH-**17, **27シリーズ」に、エネルギーリモコンを設定して以来、設定範囲を石油温水機器等にも拡大し、より使い易く・より分かり易く機能を進化させてきました。2007年には家庭での電気使用量も表示可能なエネルギーリモコン「RC-9001シリーズ」等、2009年には「RC-E9001シリーズ」を発売し、設定機種種の展開を図ってきました。2011年は、従来のナビゲーション機能を進化させるとともに、ガス石油潜熱回収型温水機器と太陽光発電システムとの併設を想定し連携した表示が可能な高機能リモコン「RC-C001シリーズ」を発売しました。「RC-C001シリーズ」は浴室リモコンにもナビゲーション機能を搭載しています。また一方で、より多くのお客さまにお使い頂けるよう、機能を絞ったエネルギー表示を搭載した標準タイプのリモコンを発売し、設定機種種の展開を図っています。

新エネルギーリモコン (高機能リモコン)
〔太陽光発電対応、エコ設定機能搭載〕

■RC-C001シリーズ (台所リモコン、浴室リモコン) **GOOD DESIGN AWARD 2011** [液晶ドットマトリクス表示 (ホワイトバックライト液晶)]



- ・大きくなった表示部と更にきめ細かくなったドット液晶で、視認性アップ
- ・表面のエネルギースイッチと十字キーで、直感的でわかり易い操作
- ・ガス(灯油)・お湯・電気(*)のリアルタイム使用量を、トップ画面の上部に表示、モード図での一覧表示も可能
- ・CO₂排出量の総量表示 (排出係数は設定可能)
- ・カレンダー機能搭載で、前年同月に対する目標設定が可能
- ・光熱費目標に対する節約状況をアニメーションで楽しく表示

エネルギーリモコン (標準リモコン)

■RC-9100-1シリーズ *1 (台所リモコン) ■RC-E9100-1シリーズ *2 (台所リモコン) **エコスイッチ搭載**

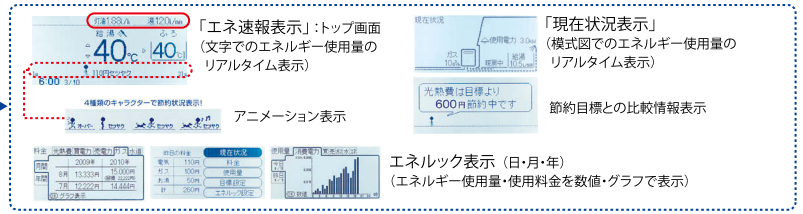


■RC-9100-1シリーズ *1 ■RC-E9100-1シリーズ *2

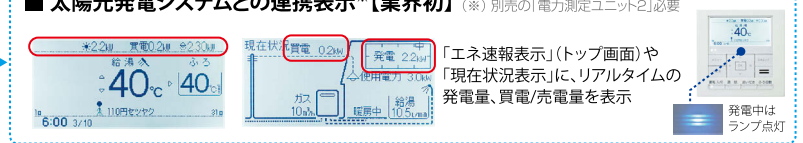
■RC-9100-1シリーズ *1: バーグラフ表示: トップ画面 (目標に対する使用割合表示)
エネルギー表示(日) (エネルギー使用量・使用料金)

■RC-E9100-1シリーズ *2: エネルギー表示(日) (エネルギー使用量・使用料金)

(*1) RC-9101-1シリーズ, RC-9112-1シリーズ等を総称して記載。
(*2) RC-E9101-1シリーズ, RC-E9112-1シリーズ等を総称して記載。

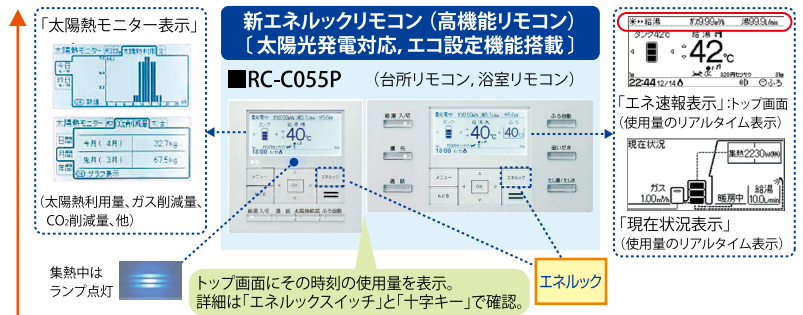


■太陽光発電システムとの連携表示*〔業界初〕 (*別売の「電力測定ユニット」必要)



〔太陽熱利用システム〕

熱源一体型ソーラーシステムは、2009年からエネルギー機能と太陽熱利用の表示機能をもつ高機能リモコンを搭載しています。2011年は「XFシリーズ」(ふろ・給湯・暖房)をリニューアルし、ナビゲーション機能を進化させた、太陽光発電システムとの連携表示も可能な高機能リモコン「RC-C055Pマルチセット」を搭載しました。



2012

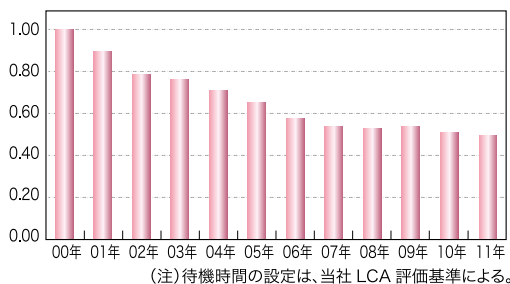
2011

2012

●待機時消費電力の削減(温水機器)

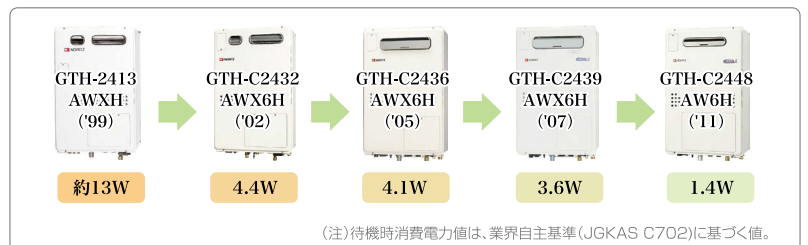
温水機器は、安全監視・制御・通信などの機能上、待機時消費電力が不可欠ですが、当社では早くから待機時消費電力の削減に取り組み、業界自主基準(2008年度目標)達成は勿論のこと、更なる低減に向けて取り組んでいます。

■温水機器1台当たりの待機時消費電力量の推移
— 50%削減(対2000年比) —



[注] ここでの待機時消費電力量の算出対象製品は、ガス石油温水機器(従来型および潜熱回収型)のみです。

■ガスふろ給湯暖房機での待機時消費電力値の変遷(例)

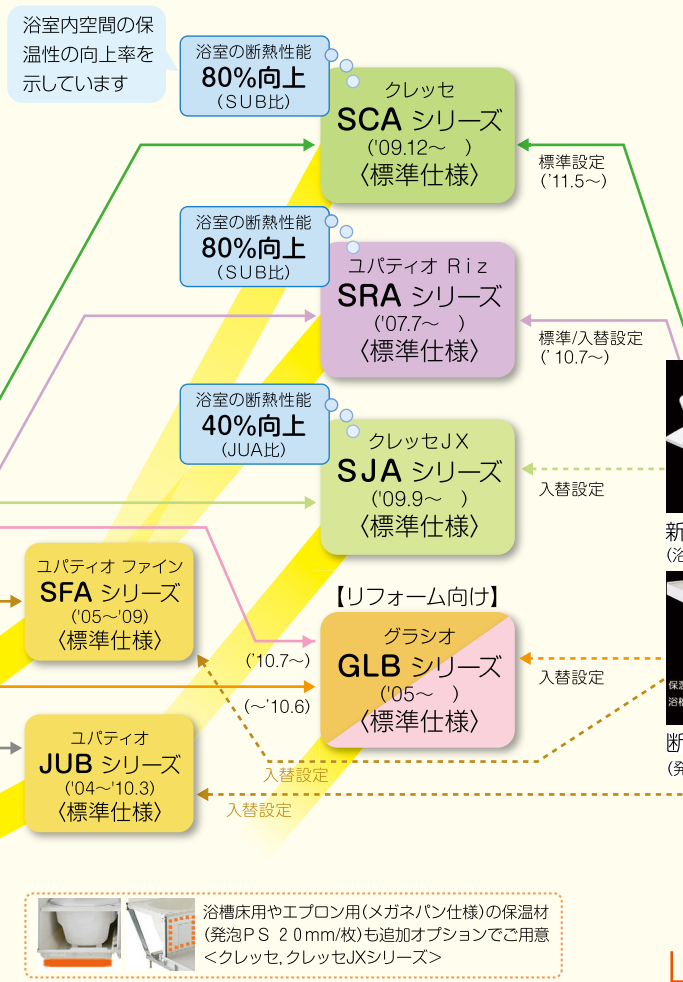


当社では、2009年にガスふろ給湯暖房機「GTH-C**46シリーズ」(1.5W)、2010年はガスふろ給湯器「GT/GRQ-C**42シリーズ」(1.1W以下)・ガスふろ給湯暖房機「GTH-C(P)**47シリーズ」(1.5W)・ガス給湯器「GQ-C**32WSシリーズ」(1.4W)や石油給湯機「OQB-C4703Y(S)」(1.8W)、2011年にはガスふろ給湯暖房機「GTH-C(P)**48シリーズ」(1.4W)など、待機時消費電力を当社従来比50%以上削減した温水機器を発売しました。今後も、通電制御の改良、電源効率の改善、低電力デバイスの採用等の技術開発を進め、更なる低減に取り組んでいきます。

2011年度の販売製品1台当たりの年間待機時消費電力量は、2000年度〔約50 kWh/年 (=約19kg-CO₂/年)〕に対し50%削減しています。

<p>クレッセ SCA シリーズ</p> <p>らくエコ浴槽</p> <p>CO₂削減量 307kg (1台/年)</p> <p>(SFA比)</p>	<p>ユパティオ Riz SRA シリーズ</p> <p>ゆったり(ひろびろ)浴槽</p> <p>CO₂削減量 108kg (1台/年)</p> <p>(SFA比)</p>	<p>クレッセJX SJA シリーズ</p> <p>らくエコ浴槽</p> <p>CO₂削減量 394kg (1台/年)</p> <p>(JUB比)</p> <p>(参考)SFA比では188kg減</p>	<p>ガラスIO GLBシリーズ</p> <p>出窓ヘリフォーム ゆったり浴槽</p>
---	--	---	---

(注) バルーンのCO₂削減量は、特定のプランでの4人家族を想定した右下添字製品の標準仕様を基本とした比較。タイプIII環境ラベル「エコリフ」の製品分類基準(PCR)算出方法に準拠。〈詳細はHPIに記載〉



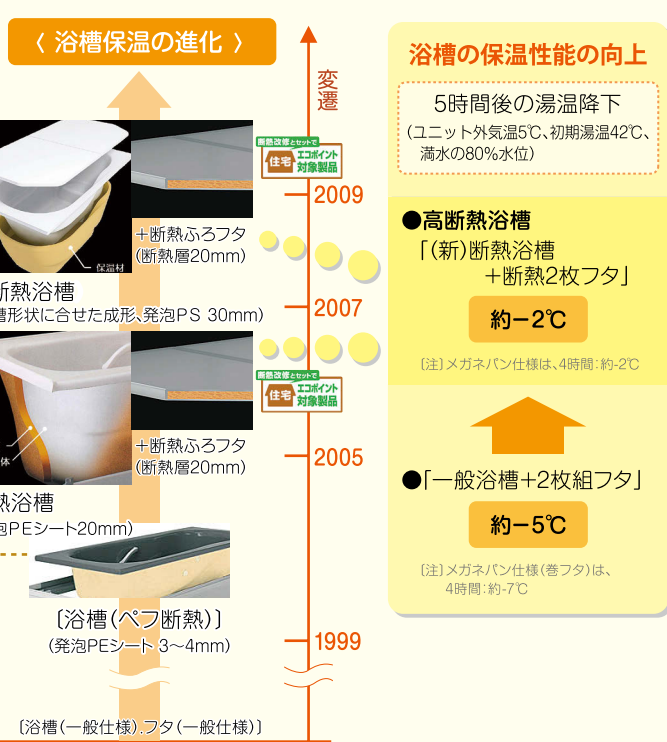
■復興支援・住宅エコポイント

2011年11月「平成23年度第3次補正予算」が成立し、住宅エコポイント制度は、被災地復興支援と住宅の省エネ化を目的とした「復興支援・住宅エコポイント」として再開されました。

エコリフォーム(断熱改修)と併せて、「高断熱浴槽」を設置される場合、エコポイントが追加発行されます。(ただし、住宅エコポイント事務局に登録された製品が対象です)

エコリフォームのエコポイント発行対象期間
〔12.2現在〕:2011年11月21日~2012年10月31日に工事着手したもの

Web 住宅エコポイント事務局
URL : <http://fukko-jutaku.eco-points.jp>



照明器具の省エネ化

蛍光灯照明の標準化とLED照明の採用

やすらぎ空間を大切にしながら、省エネ型照明への切替えを進めています

【例】クレッセ SCA / ユパティオRiz SRAシリーズ (1616サイズ)

<p>ユパティオRiz SRA (標準仕様)</p> <p>全プラン-Aスタイル フルライン照明 直管形蛍光灯 計約40W</p> <p>(40形×1灯)</p> <p>全プラン(入替設定 '12.4~) ダウンライトLED照明</p>	<p>クレッセ SCA シリーズ (標準仕様)</p> <p>全プラン(標準仕様) ダウンライト照明 電球形蛍光灯 計約39W</p> <p>(60W形電球タイプ×3灯)</p>	<p>クレッセ SCA シリーズ (入替設定)</p> <p>全プラン(入替設定) ダウンライト照明 LED電球 計約19W以下</p> <p>(一般電球形6.4W以下×3灯)</p>
--	---	--

〔従来〕 ユパティオファイン SFA (標準仕様) ユニバーサル照明/丸型照明 白熱電球 計約108W

(一般白熱電球60W形×2灯)

床の進化〈ドライ&クリーン〉

汚れにくく・乾きやすい床で、お掃除や乾燥に伴う環境負荷の低減にも配慮

変遷

2010 全シリーズ、クリーン床をご用意

長期間、キレイが持続し、乾燥性能を維持します。

クリーン床 (新素材のアクリル層(表面硬度8H)で傷が付き難く汚れにくいドライ床)

2009

2005 全ラインナップ、ドライ床採用

エアターンの換気扇の併用で 浴室乾燥時間 (従来比) 1/3

浴室乾燥時間(従来比) 20%短縮 (一般換気扇使用)

2000 ドライ床 (大きな水たまりが残りにくい加工を施し、乾燥時間を短縮)

〔床(従来仕様)〕

製品を通じた環境負荷低減

●製品によるCO₂排出量の削減(キッチン・洗面ルーム)

キッチンや洗面ルームに豊かな空間と笑顔をお届けしたい。ノーリツグループでは、お客さまの快適性・安全性を追求し、システムキッチンや調理機器(こんろ, 食洗機, 等)、洗面化粧台の機能・デザイン・操作性等の向上に努めるとともに、省エネ・節水に配慮し、エネルギー使用の削減に寄与する製品をお届けし、ゆとりのある素敵な生活を送っていただけるよう、技術開発と商品設計に取り組んでいます。

システムキッチンの省エネ・CO₂削減

高効率ガス調理機器の搭載

■高効率ガスビルトインこんろ(全機)
「S-Blink シリーズ」, 「i-SELECT シリーズ」, 他

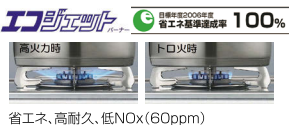


CO₂削減量
23kg
(/台/年)

(2000年頃製品比)

熱効率(こんろ部)
48% ⇒ 55.6%
省エネ基準達成率
(グリル部)
73% ⇒ 100%

Siセンサー-コンロ
全バーナーに搭載したセンサーが温度を見守り多くの安心機能と便利な調理機能をお届けします



～ガスでらくらく節電クッキング～

「S-Blink シリーズ」, 「i-SELECT シリーズ」等には便利な機能を搭載

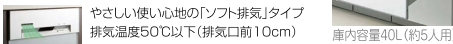
- 炊飯機能: ガス火であっくらご飯 火加減も自動で調節 (専用炊飯鍋 必要)
- 湯わかし機能: 沸騰したらブザー & 自動消火 うれしい保温機能付き

節水型食器洗い乾燥機の搭載

■節水型スライド式食器洗い乾燥機
(食洗機ありプラン: 標準仕様)

「FB4515 (F45B15) シリーズ」

洗浄力や使いやすさはもちろん
トップクラスの節水・省エネを実現



CO₂削減量
128kg
(/台/年)

手洗いとの比較

(社)日本電機工業会 自主基準(10年3月末現在)準拠(標準食器(小物)点数での比較)

省エネ型照明の採用

■高効率LED照明(オプション設定)



消費電力8.3Wで、20W形直管形蛍光灯器具と同等の明るさのライン照明

換気連動システムの採用

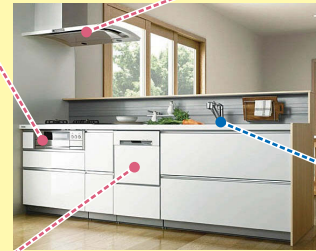
■コンロ連動機能付レンジフード(入替/オプション設定)



換気連動対応コンロ(入替/オプション設定)と相合せ、自動運転/自動停止で節電配慮

エスタジオ・ビレイシリーズ
GOOD DESIGN AWARD 2011

ベストシリーズ



■業界初! 排気レス・スライド式食器洗い乾燥機(オプション設定)

「FB4516 (F45B16) シリーズ」

新開発「水冷式除湿排気回収システム」を搭載し、快適な空間をキープ



排気口なし! 排気なし!
ニオイが出ない、結露がおきない、お子さまが近づいても安心
第5回キッズデザイン賞受賞 (標準コース)

*スライド式食洗機にて(11年10月現在)(ハーマン調べ)

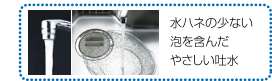
節湯型機器*(節水・節湯水栓)の採用

～すべての方に快適さと自然な節水を～
多様な節水・節湯水栓のラインナップを拡大

(*)「節湯型機器」は省エネ法トップランナー基準(住宅事業建築主の判断基準)で定義された(台所)水栓で、節湯の種類「節湯A(手元止水機能)」、節湯B(最湯流量が小流量)、節湯AB(その両方)のいずれかの基準に適合したものを。

■「節湯B」対応水栓(標準仕様)

「シングルレバー水栓(静音泡沫吐水)」で節湯B(小流量)対応



CO₂削減量
82kg
(/台/年)

一般シングルレバー水栓比

「節湯B」
節水率 約17%
(省エネ法上の設定値)

■「節湯AB」対応水栓(オプション設定)

●「タッチ式グースネック水栓」で節湯AB(手元止水+小流量)対応



先端のスイッチで吐水・止水が出る
引き出しシャワー-シングルレバー混合栓

CO₂削減量
128kg
(/台/年)

一般シングルレバー水栓比

「節湯AB」
節水率 約26%
(省エネ法上の設定値)

●「ワイヤレススイッチユニット*(節湯A)+組み合わせ水栓(節湯B)」で節湯AB対応



お好みの場所にワイヤレススイッチを設置して、吐水・止水をワンタッチ

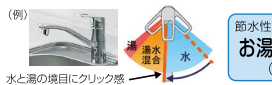
(※スイッチ以外に、駆動部・コントローラー等を含む)

CO₂削減量
121kg
(/台/年)

一般シングルレバー水栓比

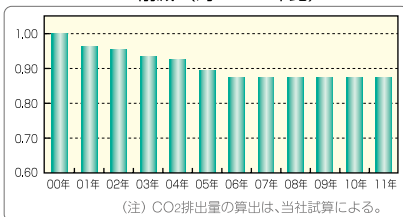
■「無意識のお湯使用削減」水栓-「節湯B」(オプション設定)

「エコシングルレバー水栓」なら、節湯B対応に加え、中央まで拡大された吐水域と水とお湯の境目のクリック感が、無意識のお湯使用を削減



節水性能に加え
お湯使用量 約16%減(年平均)
(一般シングルレバー水栓比)

■ガス調理機器 1台当たりのCO₂排出量の推移 -12.7%削減(対2000年比)-



ビルトインこんろ・テーブルこんろ等のガス調理機器においては、高効率バーナーの開発等により、2011年度の販売製品1台当たりのCO₂排出量を、2000年度(0.144 t-CO₂/年)に対し、12.7%削減しています。近年削減幅が鈍化していますが、実使用での省エネに配慮した商品開発を推進しています。

[注]ここでの算出対象は、当社グループのハーマンから出荷する省エネ法トップランナー基準対象のガス調理機器です。

洗面化粧台の省エネ・CO₂削減

節水・節湯水栓*の採用

使いやすさと節水の両立



キューボ
シリーズ
<標準仕様>

●シングルレバーシャワー水栓(微細シャワー吐水)



節水率
約20%

CO₂削減量
41kg
(/台/年)

一般シングルレバー水栓比



シャンピーヌS
シリーズ
<標準仕様>

●シングルレバーシャワー水栓(コンパクトシャワーヘッド)



節水率
約30%

CO₂削減量
61kg
(/台/年)

一般シングルレバー水栓比

(*) 台所水栓と同様に節水効果がありますが、省エネ法で定義されている「節湯型機器」の対象は、台所水栓と浴室シャワー水栓です。

(注) ハルーンのCO₂削減量は、4人家族(コンロは3人家族)を想定した下部添字製品との比較<詳細はHPに記載>

製品・包装における資源の有効利用

持続可能な資源循環を実現し、循環型社会を構築するためには、社会全体での最適化を図るよう取り組まなければなりません。省資源化設計(小型・軽量化)は、低炭素社会や自然共生社会の構築にも間接的に貢献する最もコネフィット(相乗便益)を生み出しやすい取り組みの一つですが、自社の事業範囲だけでなく上下流のサプライチェーンを見据え、資源利用全体の実像を考慮して取り組む必要があります。一方、再生材(再生資源)の利用等の取り組みは、それ以上の総合的な判断が不可欠であり、ライフサイクル全体での評価に基づいた広範囲な視点で、自社製品が廃棄された後の再資源化と他業界からの再生資源の利用の推進に取り組む必要があります。

ノーリツグループの製品は、寿命が長く、高い安全性が必要とされる住宅設備機器が中心であることから、実効性を検証しつつ、ステップ・バイ・ステップで製品の3R対応設計を推進しています。また、製品の包装材においても、リターンブル包装等の先駆的な3R対応を推進しています。

<http://www.noritz.co.jp/csr/ecodesign/> 循環型社会に向けた取り組みの詳細は URL : <http://www.noritz.co.jp/csr/ecodesign/>



リターンブル包装(温水機器・調理機器)

■ ガス温水機器

ガス温水機器では、2002年からリターンブル包装を導入しました。これは、包装設計と各種試験により適正形状を追究することで、衝撃吸収性と回収輸送性を両立した薄肉の樹脂成形部材(上下トレイ)を開発することに成功し、従来の段ボールと緩衝材を代替したものです。販売・施工会社様のご協力により、施工現場より上下トレイ(及び一部機種種のフロント保護材)を回収して再使用(リユース)しています。

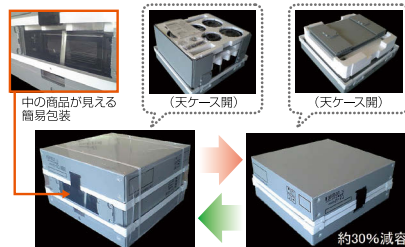
現在、一部ハウスメーカー様・ガス会社様向けに使用しており、毎年着実に増加しています。2011年のリターンブル包装製品の出荷台数は、2005年比では約7.5倍まで増加しました。ガスふる給湯暖房機では2011年の出荷台数全体の約20%がリターンブル包装になっています。今後も採用拡大に向け取り組んでいきます。



■ リターンブル包装(シュリンク包装)の出荷状態(例)(左)と回収状態(複数台数分の部材を重ね合わせ)(例)(右)

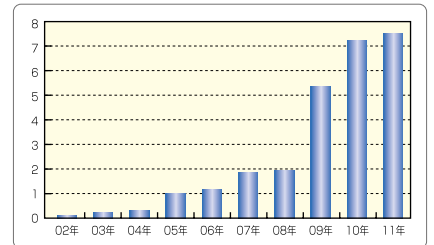
■ ガス調理機器

システムキッチンに組み込むガスビルトインこんろにおいても、2005年からリターンブル包装を導入しています。販売・施工会社様等のご協力により、ケース・緩衝材・パッド類等を再梱包して返送頂き、再使用(リユース)しています。現在、キッチンメーカー様経由で一部ハウスメーカー様向けに使用しており、採用拡大に向け取り組んでいます。



■ リターンブル簡易包装の出荷状態(左)と回収状態(右)

■ ガス温水機器のリターンブル包装製品の出荷台数の推移(対2005年比)



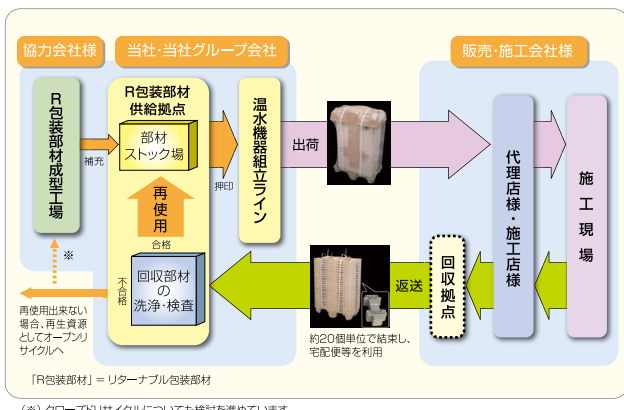
(注) 2005年の出荷台数を1として指数化しています。

リターンブル包装のLCA評価 : ガス温水機器

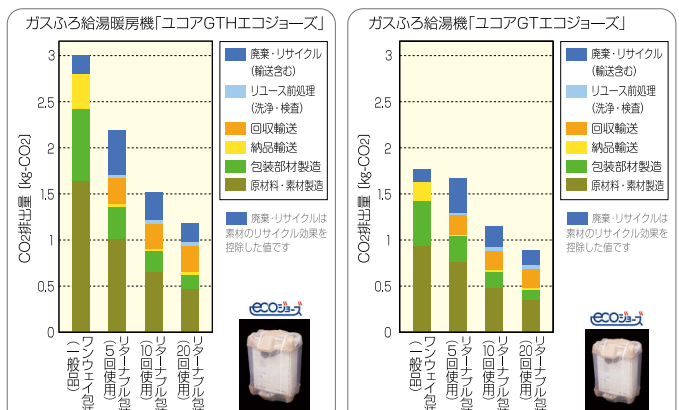
包装材のリターンブル化による環境負荷低減効果を定量的に把握するため、ガスふる給湯暖房機「ユコアGTHエコジョーズ」及びガスふる給湯器「ユコアGTエコジョーズ」のリターンブル包装とワンウェイ包装(同機一般品)について、LCA評価を実施しました。これまで、包装材のLCA評価を実施して来ましたが、適切な二次データ(外部機関からの引用データ)が見当たらず、類似データで代用したり、カットオフ(影響が少ないとして無視)していた部材を若干含んでいました。今回、これらの部分について網羅性を高めるため、自らが循環利用をコントロールしている部分(一次データ)の再調査と二次データの再調査・最新化を図り、LCA評価方法の精度の向上と固有性・汎用性の両立に努めました。

その結果、廃棄後の循環利用による効果の反映等に課題が残るものの、リターンブル包装は、想定しているリユース回数(20回)では、ワンウェイ包装よりライフサイクルでのCO₂排出量を削減出来ることが再確認できました。今後も評価方法の信頼性の向上に努めるとともに、他の製品分野の包装材でのLCA評価方法の確立を目指します。

■ 包装材の再使用の流れ(温水機器)



■ 包装材 1回使用当たりのCO₂排出量比較(例)



(注) 左記の結果は扉内設置仕様のもので、ワンウェイ・リターンブル包装とシュリンク包装、ワンウェイ包装は「バルブモルト」製緩衝材使用。

製品を通じた環境負荷低減

製品の化学物質低減とグリーンサプライチェーン

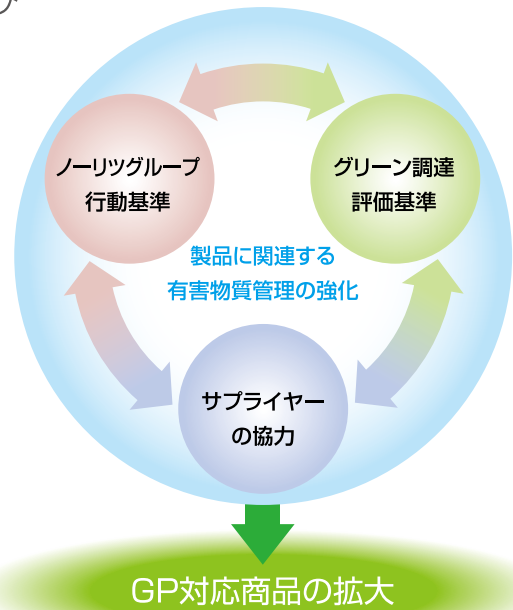
●製品における環境負荷物質低減の取り組み

ノーリツグループでは、2006年7月から製品に含有される化学物質の管理を始め、2010年7月からは更に物質数を増やし管理を強化しています。法規制や業界基準よりも厳しい目標で製品作りを行っています。RoHS指令^(※1)で規制された6物質とそれ以外の13物質に関しては使用を禁止し(一部条件付あり)、また、JAMP^(※2)が特定している報告対象物質(約3300物質)に基づきREACH規則^(※3)で特定されている物質を調査しています。それにより、製品における化学物質の情報を提供できるよう努めています。

製品を作る上で重要なサプライヤーとの関係については「ノーリツグループ行動基準」の規定に基づき、日常の企業活動を行っています。その基本は「企業情報の漏洩等の防止に努め、また対等で公正な取引を行い、サプライヤーと共存共栄に努める」ことであり、相互の信頼関係によりさらに発展していくことを目指します。サプライヤーの選定においては、国内外を問わず広く門戸を開放した上で、環境・品質・価格・納期を基本とした合理的な基準で選定を行っています。

調達の際は「グリーン調達評価基準」を策定し、「環境保全の進んだ工場で作られた、環境負荷の少ない部品を調達する」ことを基本としています。この基準を満たすサプライヤーの協力により、製品に関連する有害物質管理が進み、GP対応商品^(※4)の拡大につながっていきます。

また、サプライチェーン全体で有害物質管理を行えるように環境管理システムの導入や継続的な改善を支援する活動を積極的に行っています。



- ※1 RoHS指令:2006年7月よりEU域内で販売される電気・電子機器への特定6物質の含有を規制。
- ※2 JAMP:アーティクルマネジメント推進協議会の略称。化学物質にかかわる情報伝達の仕組み、業界横断で利用可能な製品含有化学物質等の情報伝達の仕組みの普及に取り組んでいる。
- ※3 REACH規則:EU圏内で化学物質を製造・輸入する場合に、登録、評価を義務付け、高懸念物質は許可、禁止等の制限を設ける規則。
- ※4 GP対応商品:ノーリツの環境負荷物質管理指針で規制している有害物質を低減した商品。

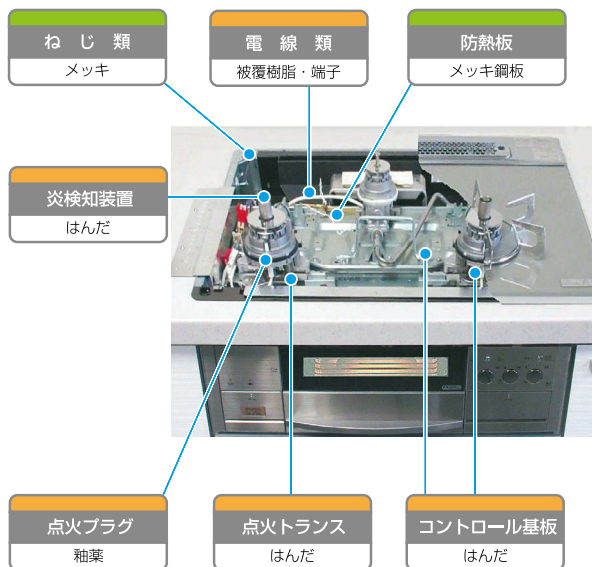
有害物質使用制限の具体例

製品を構成する部品の一部には、環境負荷物質管理指針で規制している物質が含有されていましたが、私たちは、図に示すような部品への含有量を低減することで有害物質対応を行っています。

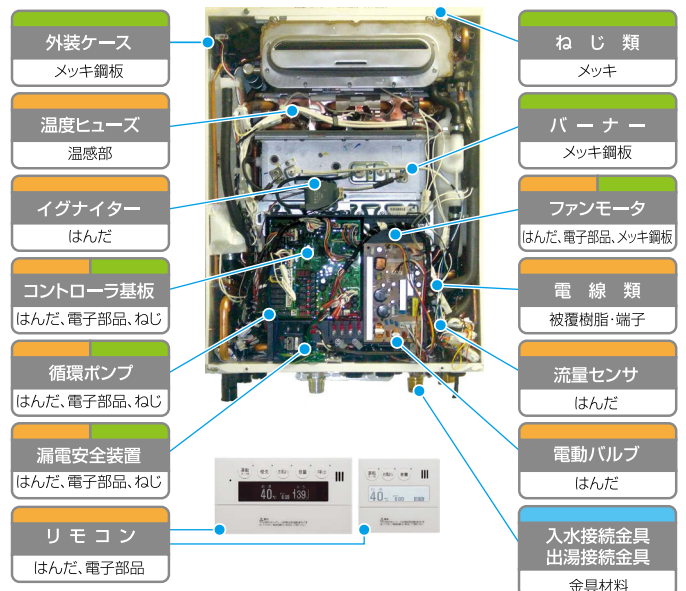
■物質名および低減方法

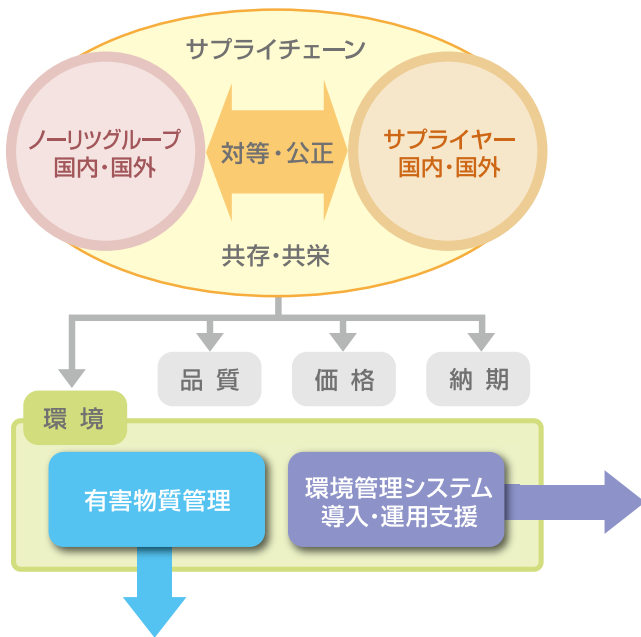
鉛	鉛フリーはんだ、鉛フリー電線、鉛フリーの材料等を採用することで低減させています。
カドミウム	黄銅材料は低カドミウム材に変更しています。
六価クロム化合物	メッキ鋼板やねじのメッキは、三価クロム系へのメッキ液の置き換えを主体に、六価クロムフリーメッキに置き換えています。

■ビルトインこんろ / S-Blink ADVANCE



■ガスふる給湯暖房機「エコジョーズ」





主要サプライヤーへの環境管理システム運用支援

サプライチェーンでの環境負荷低減を推進するため環境管理システム認証取得および運用を支援しています。2011年は「内部環境監査員講習会」を計2回開催し、サプライヤーの環境管理システムの推進者や内部監査員の育成の支援を行いました。この2回の「内部環境監査員講習会」の開催により、サプライヤー11社計23名に環境監査員の資格認定を行いました。

■参加者の声 株式会社黒田製作所 生産技術部 岡嶋様

ISO14001について地球環境に対する考え方のEU諸国との違い今後企業の取り組んでいかなければならない方向、環境マネジメントシステムを学びました。また内部監査員としての役割、必要性を知り、ケーススタディを通して実際の監査の方法のやり方が学べ、今後の活動に生かせる講習になり大変良かったと思います。



ノーリツグループが使用を制限する物質

(ノーリツグループ環境負荷物質管理指針)

ノーリツ製品に含まれる有害物質の使用を制限する指針として「環境負荷物質管理指針」を策定しています。この指針では、RoHS指令やJ-Moss(※5)の対象6物質に加え、ノーリツ独自の国内外でその有害性を懸念されている物質を対象に合計19物質の使用を制限しています。また、「管理物質」としてJAMPが特定している約3300物質についても機種を選定し、含有状況の把握と、今後追加、特定されるであろう高懸念物質への対応を進めていきます。



※5 J-Moss:電気、電子機器の特定の化学物質の含有表示方法(JIS C 0950)。資源有効利用促進法が2006年2月に改正され7月より施行され、特定6物質を含有している製品への含有マークの表示が義務付けられています。

ノーリツグループが管理していく物質
(ノーリツグループ環境負荷物質管理指針 第4.0版)

「禁止物質」(19物質)

RoHS指令、J-Moss規制物質(6物質)

- 鉛
- カドミウム
- 水銀
- 六価クロム
- ポリ臭化ビフェニル類
- ポリ臭化ジフェニルエーテル
- ビス(トリブチルスズ) = オキシド
- トリブチルスズ、トリフェニルスズ類
- 短鎖型塩化パラフィン
- ポリ塩化ビフェニル類 (PCB)
- 特定ポリ塩化ナフタレン
- アスベスト
- アゾ化合物
- オゾン層破壊物質
- 放射性物質
- クロルピリホス
- ホルムアルデヒド
- 特定ベンゾトリアゾール
- ハーフオロオクタンズルホン酸

+

管理物質
● 含有情報を把握する物質
● JAMPが特定した約3300物質 (REACH規則対応)

禁止物質の不使用を保証する仕組み

禁止物質の不使用を保証する仕組みとして、サプライヤーにおける仕組み構築を中心とし、受け入れ段階で以下の①から⑤の管理を行っています。それにより「継続的な有害物質不使用保証」を行っています。

- ①取引基本契約の締結
- ②サプライヤーでの体制・手順の明文化
- ③GPネットによる物質管理
- ④環境有害物質監査の実施
- ⑤有害物質の分析(データの信憑性確認)



GPネットの表示例



蛍光X線分析装置

2011年度 GP対応商品一例



GP対応商品マーク

ノーリツでは、環境負荷物質管理指針で規制している有害物質を低減した商品を「GP対応商品」(グリーンプログラム対応商品)と呼び、独自の「GP対応商品マーク」をカタログ・WEB等に表示しています。



エコフィール

- 高効率
- 石油ふろ給湯機
- OTG-C4703シリーズ



- ガスファンヒーター
- GFH-4001D



- ガラストップビルトインこんろ
- C3WL2シリーズ



ノーリツ商品情報

URL: <http://www.noritz.co.jp/product.html>

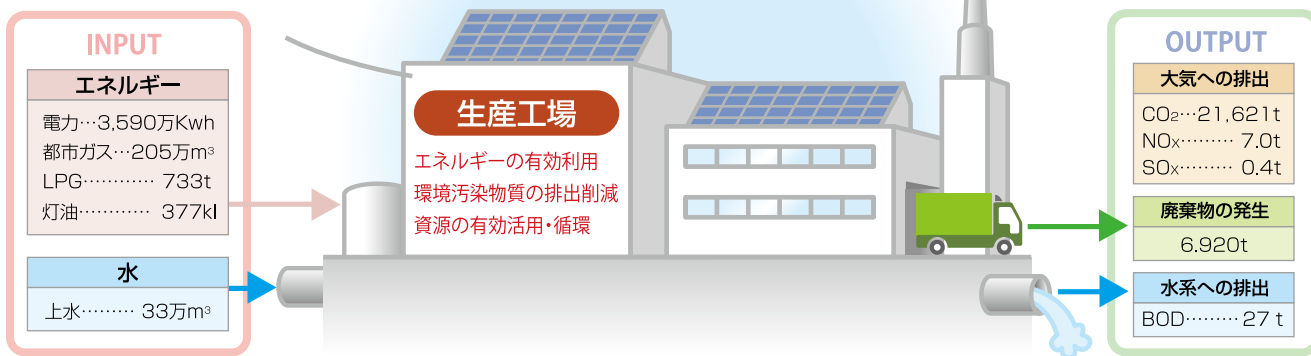
事業活動での環境負荷低減

事業活動での環境負荷低減

ノーリツグループでは、生産事業所を中心に、地球温暖化防止となるCO₂削減、省エネルギー活動や廃棄物の削減と資源循環の推進、環境汚染の予防・防止に取り組み、地球環境保全に向けて、継続的に取り組んでいます。

■環境に配慮した生産活動

エネルギーの使用量と環境負荷
(ノーリツ5事業所・工場と国内グループ製造会社8社)



省エネルギー活動 (地球温暖化の防止)

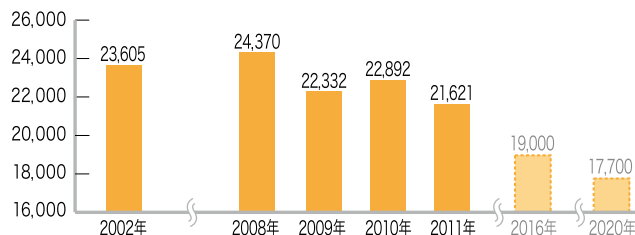
ノーリツグループでは、事業活動を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。具体的な目標としては、国内生産事業所におけるCO₂総排出量を、2016年までに20%削減、2020年までに25%削減(2002年比)することを目指します。

2011年は、節電活動・省エネ活動により、CO₂排出量は対前年比5.6%減(対2002年比8.4%減)となりました。

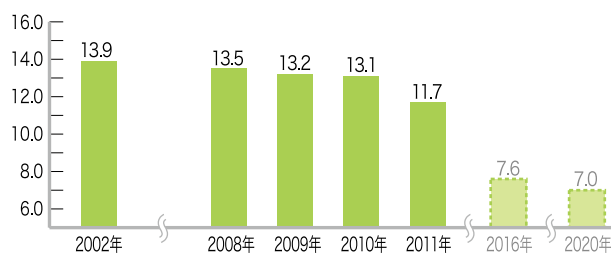
原単位でも、対前年比1.4ポイント減(対2002年比2.2ポイント減)となっています。

2012年も継続して、目標達成に向けて、CO₂削減活動を推進していきます。

■CO₂総排出量 単位(t-CO₂)



■CO₂排出量/原単位(売上高) 単位(t-CO₂/億円)



●省エネルギー推進活動

ノーリツグループでは、優先順位を考慮したエネルギー削減活動計画を策定し、具体的な活動を展開しています。また「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)の2008年改正(2010年施行)により、生産工場・事業所だけでなく、事業者全体でのエネルギー使用量の削減(省エネ)が求められています。ノーリツグループでは「環境会議」を開催し、エネルギー削減活動を進めています。



環境会議



ガスコージェネシステム (NAM 本社工場)

●太陽光発電システムの設置

2011年4月から、太陽光発電パネルの自社生産開始に伴い、ノーリツグループ内での再生可能エネルギーの利用拡大を推進しています。

太陽光発電システム設置例



環境機器開発センター



多田スミス

- ・生産技術開発センター：100kW(2005年設置)
- ・名古屋支店・ショールーム：24kW(2011年設置)
- ・アールビー つくば事業所：200kW(2011年設置)
- ・関東産業：50kW(2011年設置)
- ・大成工業 本社工場：100kW(2011年設置)
- ・環境機器開発センター：64kW(2011年設置)
- ・大成工業 第三工場：100kW(2011年設置)
- ・多田スミス：100kW(2012年設置)
- ・加古川事業所：100kW(2012年予定)
- ・新エネルギー施工研修センター：25kW(2012年予定)
- ・大成工業 第二工場：100kW(2012年予定)
- ・福岡支店：5kW(2012年予定)
- ・東北支店(仙台)：5kW(2012年予定)
- ・東京研修センター(八王子)：10kW(2012年予定)



アールビーつくば事業所



関東産業 (前橋)



大成工業 本社工場

●海外生産工場でのCO2削減の取り組み

能率(上海)住宅設備有限公司

2007年、能率(上海)住宅設備有限公司を新設し、CO₂排出量が増加しました。今後も、生産量の増加、新規設備導入等により、エネルギー使用量の増加が考えられますが、合理的・効率的な生産により、CO₂削減に取り組んでいきます。

東莞大新能率電子有限公司

2011年設立の新工場については、LED照明の採用等で、省エネルギー・CO₂削減に取り組んでいます。



能率(上海)住宅設備有限公司

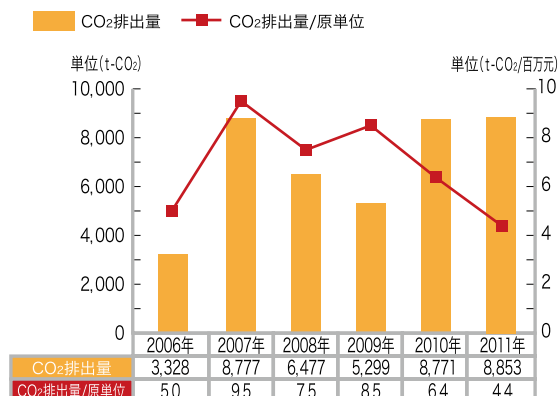


東莞大新能率電子有限公司



事務所LED照明

●CO₂総排出量、CO₂排出量/原単位(売上高)

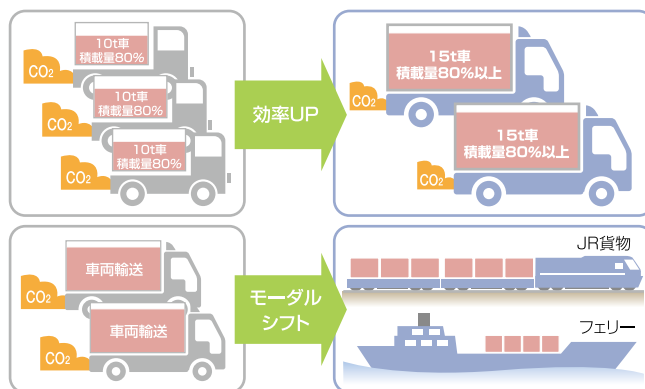
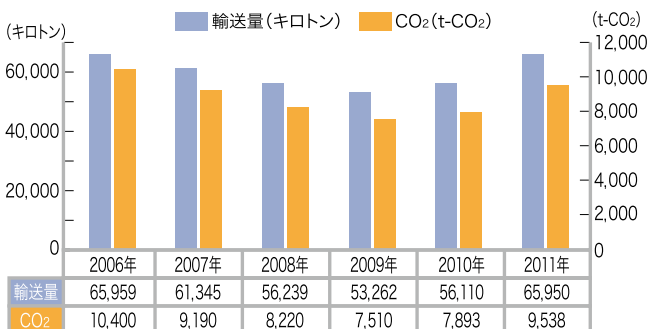


●物流分野でのCO2削減の取り組み

貨物輸送によって排出されるCO₂排出量の削減も重要な取り組み課題です。当社は、省エネ法の「特定荷主」(貨物輸送量3000万トンキロ以上/年)に該当し、省エネ法対応に加えて、輸送でのエネルギー削減・CO₂排出量削減に、委託貨物運送業者と協力して取り組んでいます。2011年は、グループ会社の統廃合による取扱製品の増加と東日本大震災の影響(積載効率ダウン)により、輸送量及びCO₂排出量は増加しました。2012年も継続して、輸送の合理化・効率化を進めていきます。

- ①トラックの大型化:商品納入時のロットを大きくするため、10t車から15tトレーラー車に置き換えることにより、積載量当たりの使用燃料の削減を図っています。2007年以降、順次変更を進めており、現在は8台のトレーラー車を運行しています。
- ②貸切便の積載効率向上:幹線の輸送には貸切便を使用しており、積載効率を向上する改善を行い、輸送の効率化を図っています。
- ③モーダルシフト:2009年からは、九州や北海道などへの長距離輸送の貨物便について、JR貨物、フェリーを活用するモーダルシフトを一部実施しており、効果を上げています。

■輸送量・エネルギー・CO₂排出量

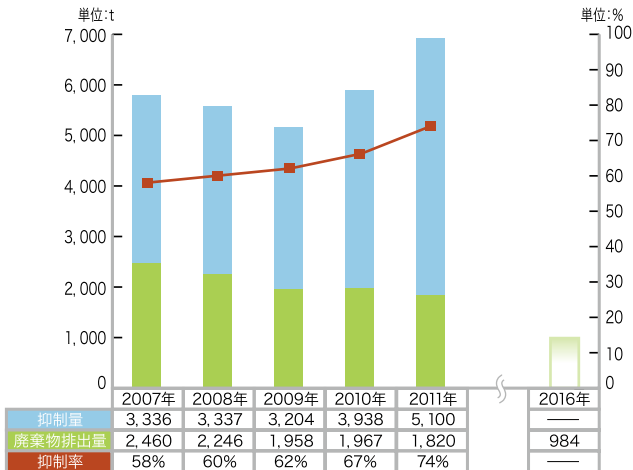


事業活動での環境負荷低減

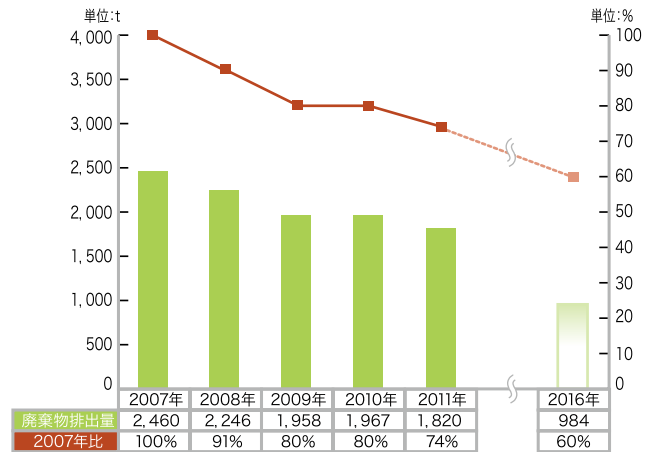
資源の有効活用

持続可能な事業活動が行えるように、資源生産性の高い事業活動を展開し資源の有効利用、資源採取による生態系の破壊、最終処分場のひっ迫などの観点から、資源生産性の高い事業活動を展開し、循環型社会の構築に積極的に取り組んでいます。

●廃棄物排出量・抑制量 ■抑制率



●廃棄物排出量・削減率 ■2007年比



●ゼロエミッションの継続

ノーリツグループでは生産活動における廃棄物のリサイクル率向上の活動の結果、2004年に国内の生産事業所すべてにおいてゼロエミッションを達成しました。2011年は国内生産事業所だけでなく、海外の生産事業所においてもゼロエミッションを達成しました。

引き続き国内外の生産事業所においてゼロエミッションを継続していくことに努めます。

■ノーリツグループ・ゼロエミッション定義

廃棄物の全発生量(全重量)のリサイクル率が99%以上となった月を3ヶ月以上継続し、今後も継続可能と判断した状態をゼロエミッションの達成とします。

●継続状況

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
ノーリツ生産事業所									
NAM事業所(※1)		→	→	→	→	→	→	→	→
明石工場(※2)		→	→	→	→	→	→	→	→
加古川事業所		→	→	→	→	→	→	→	→
グループ生産事業所									
大成工業(株)播磨第一工場		→	→	→	→	→	→	→	→
大成工業(株)稲美工場		→	→	→	→	→	→	→	→
大成工業(株)播磨第三工場		→	→	→	→	→	→	→	→
大成工業(株)名古屋工場(※3)		→	→	→	→	→	→	→	→
(株)ハーマンプロ		→	→	→	→	→	→	→	→
(株)アールビー神立事業所		→	→	→	→	→	→	→	→
(株)アールビーつくば事業所(※4)		→	→	→	→	→	→	→	→
(株)多田スミス		→	→	→	→	→	→	→	→
関東産業(株)		→	→	→	→	→	→	→	→
(株)エスコアハーツ(※5)		→	→	→	→	→	→	→	→
海外生産事業所									
能率(上海)住宅設備有限公司									→
東莞大新能率電子有限公司									→

※1: NAM事業所は、大成工業(株)播磨第二工場を含みます。 ※2: 明石工場は、信和工業(株)、第一電子産業(株)を含みます。

廃棄物集積場

国内生産事業所



拡大

海外生産事業所



●廃棄物削減への取り組み

ノーリツグループでは、生産活動に伴う廃棄物排出量*1 を 2016 年までに、2007 年比 60% 削減することを目指しています。2011 年は 2010 年に引き続き、生産量や内製の増加により廃棄物発生量*2 は増加しましたが、ノーリツグループをあげて廃棄物排出量の削減に取り組み、2007 年比 26%削減を行いました。ノーリツグループでは、廃棄物のリサイクルだけでなく、廃棄物のそのものの削減や、分解、分別を行い、有償もしくは無償で業者に引き渡す活動に加え、再利用を行う活動にも取り組んでいます。

※1 廃棄物排出量：処理費用が発生する廃棄物の量

※2 廃棄物発生量：廃棄物の全体量

●信和工業株式会社

信和工業では、樹脂成形過程で排出されるランナーなどを有効活用し、製品にリサイクルする取り組みを行っています。この取り組みにより、樹脂成形過程から排出される下の写真のようなランナーなどはほぼ100%製品の材料として活用され、廃棄物の排出がない状態になっています。このような設備導入により廃材となってしまうもののリサイクルを行い、資源の有効活用になる活動を行っています。今後も、この活動を広げ、多様な製品に展開できるように取り組んでいきます。



成形して完成

■樹脂廃材がリサイクルされるまでの流れ



ランナーなどの廃材



ペレット化



配合



破 碎

信和工業株式会社 樹脂成形部 チームリーダー 西村さん

現場の声

「以前より樹脂成形の現場では、ランナーなどの廃材が発生しており、それを見るたび、もったいないなあという気持ちでいました。そこで、開発部門とも協力をして、今まで捨てていた部材をリサイクルできるように取り組みました。

設計部門では、強度設計やリサイクル材の配合比率などに苦労しながら取り組み成形の現場では、樹脂ペレットに戻す温度などの条件設定に苦労しました。しかし、その甲斐あって今では、リサイクルする樹脂はほぼ 100%再利用することが出来ました。

今後も、現場から廃棄物の削減に向けた情報発信や提案を行っていきたくと考えています。」



環境管理システムの構築・海外での取り組み

環境管理システム

ノーリツグループにとって環境管理システムは、グローバル展開に必要な不可欠なツールです。国内外の生産事業所をはじめとした事務系事業所やサプライヤーに至るまで、ISO14001を拡大し、パフォーマンスの継続的改善を図っています。

ノーリツ個別(国内)		
生産事業所	NAM事業所	1997年 3月
	加古川事業所	1999年 6月
	明石工場	2000年 3月
事務系	西新町事業所	2004年 4月
	営業本部	2008年 9月

グループ会社(国内)		
生産事業所	信和工業(株)	2000年 3月
	第一電子産業(株)	2000年 3月
	(株)アールビー神立工場	2001年 2月
	(株)アールビーつくば事業所	1999年 6月
	(株)ハーマン	1999年11月
	(株)多田スミス	2002年 1月
	関東産業(株)前橋事務所	2004年11月
	大成工業(株)播磨第一工場	2004年 2月
	大成工業(株)播磨第二工場	1999年11月
	大成工業(株)播磨第三工場	2006年12月
	大成工業(株)稲美工場	2004年 2月
	大成工業(株)名古屋工場	2003年11月
	(株)エスコアハーツ	1998年 6月
事務系	(株)エヌティーエス※1	2008年10月

KEMS(神戸環境マネジメントシステム)		
事務系	ノーリツ本社(栄光ビル)	2004年 4月

ノーリツ(海外)		
生産事業所	能率(中国)投資有限公司	2010年 3月
	能率(上海)住宅設備有限公司	2010年 3月

グループ会社(海外)		
生産事業所	東莞大新能率電子有限公司	2007年 3月

※1 (株)エヌティーエスは、本社、東日本アフターサービス部、中部アフターサービス部、西日本アフターサービス部が認証取得しています。



内部監査員教育(NAM事業所)

ノーリツグループでは、サプライチェーン全体での環境負荷低減を推進し、グリーンサプライヤーチェーン構築の手段として環境管理システムの認証取得を支援し、内部環境監査を実施しています。

内部監査と外部審査



内部監査(NAM事業所)



内部監査(加古川事業所)

内部監査は、ISO14001の要求事項として実施するだけでなく、環境管理システムの「改善の機会」として実施をしています。指摘事項(不適合事項及び観察事項)の是正処置・予防処置を実施し、環境管理システムの継続的改善を進めています。



外部審査(経営者インタビュー)



外部審査(NAM事業所 生産部)

外部審査についても、指摘を受けた不適合事項の是正処置だけでなく、観察事項、推奨事項についても、環境管理システムの改善につながるものとして、積極的な改善を進めています。

外部審査



総合研修センター



大成工業(株)稲美工場



物流システム部

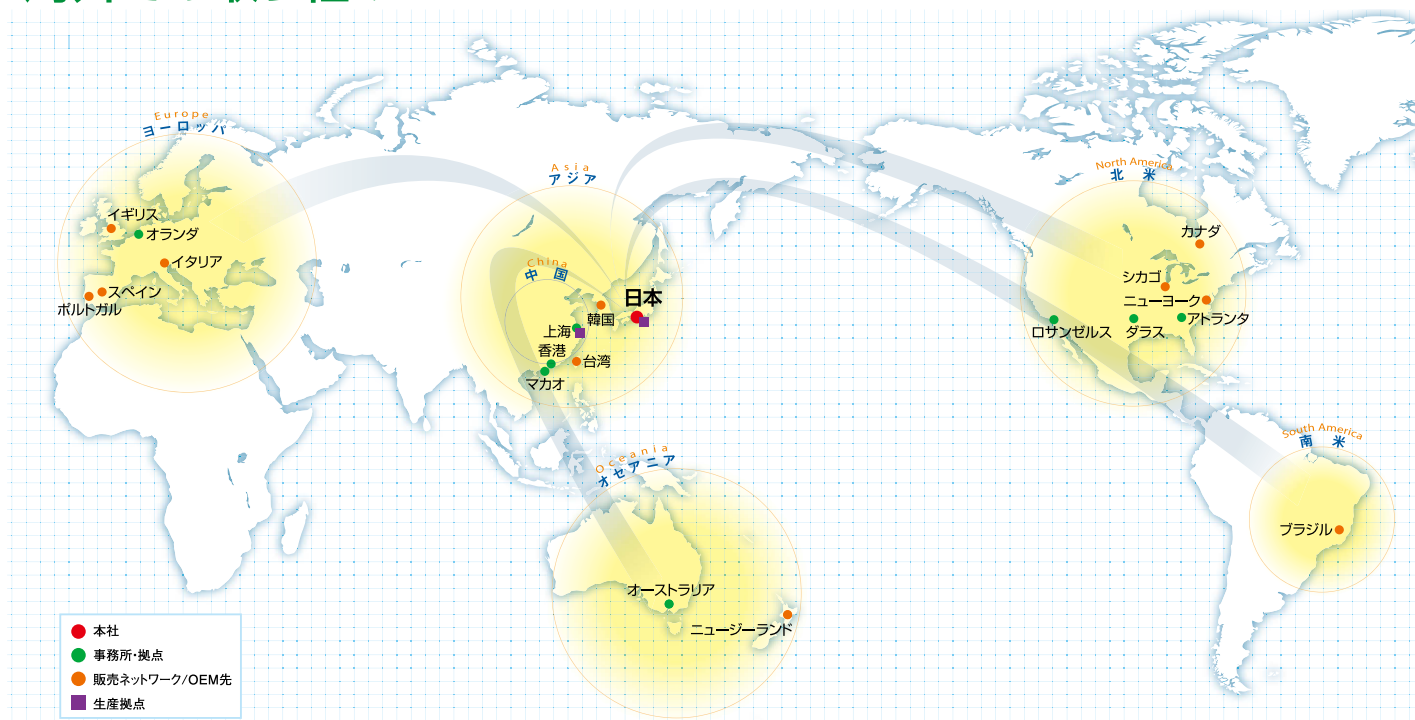


(株)エスコアハーツ



大成工業(株)播磨第三工場

海外での取り組み



ノーリツグループは、「環境共生」を基本方針のひとつとし、省エネ機器の開発・販売、環境汚染リスクの低減、資源のリサイクルに積極的に取り組んできました。

快適なお湯のある暮らしを世界中にお届けするために、これからも快適とエコを両立する温水機器で「お湯」のある暮らしの幸せを世界に広めること。これが私たちの使命です。



■ グリーン・シリーズ NRC98-DV



販売エリア:北米
高効率と超低NOx^{※1}を実現した環境共生・次世代給湯器
※1: SCAQMD(カリフォルニア州大気管理局の大気汚染規制)に対応

■ Tankless Is Green

米国・カナダ市場は従来の貯湯タンク式から、湯切れの心配がなく熱効率の高い、タンクレス(瞬間式)給湯器の需要が拡大しています。省資源でエネルギー効率の高いタンクレス給湯器に切り替えることにより、CO₂の削減と光熱費の節約につながることをお客さまに的確にお伝えし、アメリカ全土へのネットワークを拡大しています。



省エネルギー機器プログラム・基準

世界各国でノーリツの環境技術は高い評価を受けています。

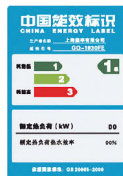
アメリカ

ENERGY STAR
省エネ機器プログラム:
全機種適合



中国

中国能效標識
省エネ機器プログラム:
全機種1級/2級取得



オーストラリア

STAR RATING
省エネ基準:コンデンシング機器
導入により最高ポイント取得



ブラジル

PBE(Energia)
省エネ機器プログラム:
主力機種:Aクラス達成



香港

EMSD(能源標籤)
香港省エネ機器プログラム:
主力機種:取得



台湾

節能標章
台湾省エネ機器プログラム:
主力機種:取得

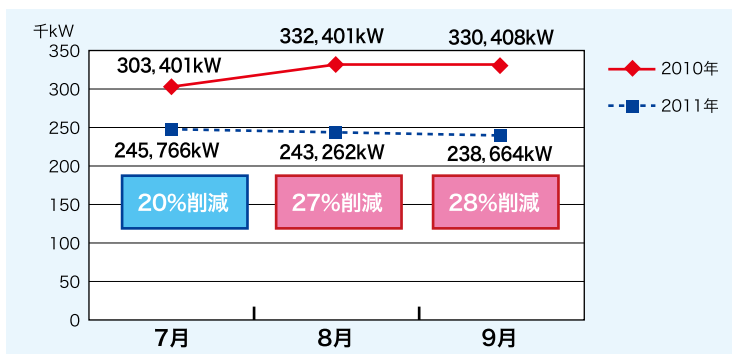


営業本部の取り組み

- ①環境負荷低減 オフィスでの「紙・ゴミ・電気」等の環境負荷低減・業務改善→コスト削減と環境取り組みの融合
- ②環境配慮商品の拡大 環境配慮商品販売による環境保全
- ③人材育成 一人ひとりの環境意識の向上→社会的責任の自覚と実践

●環境負荷低減・業務改善

営業本部では、以前より環境負荷低減・業務改善に取り組んできましたが、2011年は東日本大震災の発生に伴う、電力供給不足の為、節電・省エネに注力して取り組みました。夏の節電期間 7月～9月は電力使用量前年比マイナス25%を目標に積極的に取り組み、関連会社統合で、人数が大幅に増加したにも関わらず、目標を達成し、CO₂排出量削減に繋がりました。今後も、営業本部全員の意識をさらに高め、一人ひとりの行動を変えていくことで、更なる環境負荷低減に取り組めます。

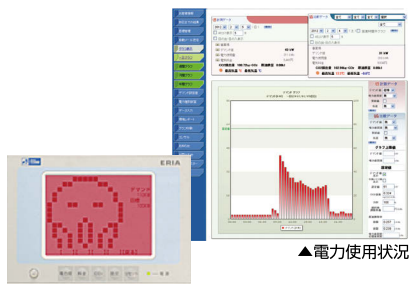


▲夏の節電期間(7～9月)の電力使用量前年比較

節電の取り組み

電力監視システム

電気の使用状況を監視・分析し、使用しすぎを警告してくれるシステム「電力監視システム」を導入。使用電力を見える化しコントロールする事で、CO₂排出量を削減しています。また電力を見える化する事で、一人ひとりの節電意識向上にも繋がっています。



▲電力監視システム

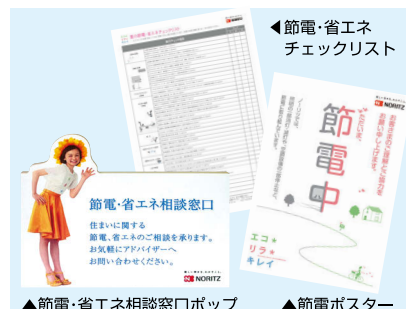
窓ガラス遮熱加工

室内の温度上昇対策として、ショールームや事務所の窓ガラスに遮熱加工を施しました。赤外線、紫外線がカットされる為、空調の設定温度を上げ、CO₂を削減しています。



節電・省エネ相談窓口

2011年7月より住まいに関する節電・省エネの相談窓口を全国29ヶ所のショールームに設置しています。節電・省エネの観点を組み込んだ商品設定や家庭で出来る省エネ・節電のポイントをご案内させて頂いています。



▲節電・省エネ相談窓口ポップ

▲節電ポスター

スーパークールビズ

従来のクールビズをさらにバージョンアップし、ポロシャツ等の着用を許可するスーパークールビズを取り入れ、少し高めの空調設定でも、快適に業務が行える様にしています。



▲スーパークールビズ名札

▲スーパークールビズ案内

複合機の削減・入替

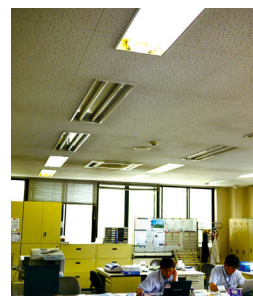
関連会社統合・営業所総務支店集約に伴い、複合機47台を削減しました。また、長期使用複合機の見直しを行い、47台を省エネタイプに入れ替え、大幅な電力削減になりました。



▲2台を1台に集約

その他

設備投資以外にも、事務所・廊下の照明の間引き、屋外看板点灯時間の短縮、パソコンの省エネモードの活用、電化製品の待機電力カット、早めの退社など一人ひとりが意識し、節電に取り組むことで、大きな成果に繋がっています。



●環境配慮商品の拡大

キャンペーンイベントでECOを訴求

エンドユーザー向けキャンペーン

2010年より実施しているエンドユーザー様向けキャンペーンの対象商品や実施期間を拡大し、高効率温水機器へのエコ替えや太陽光発電システム導入を促進しました。



▲ありがとう&エコ替えキャンペーン
(2月～6月・7月～11月)



▲わが家の給湯機器のエコフィールでエコ替えキャンペーン
(2月～6月・7月～11月)



▲太陽を楽しもう！
節電応援キャンペーン
(7月～9月)

ショールームイベント

「太陽まるごと！エコ生活提案会」や「くらし快適エコライフフェア」を全国のショールームで開催し、環境にも家計にも優しいエコ生活を提案しました。



▲太陽まるごと！エコ生活提案会
(4月～6月)

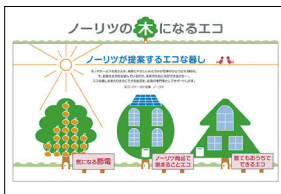


▲くらし快適エコライフフェア
(9月～11月)

販促物でECOを訴求

ホームページ

ホームページ内に節電やエコを提案・サポートするページ「ノーリツの木になるエコ」を新設し、エンドユーザー様のご家庭での環境負荷低減をサポートしています。



▲ノーリツの木になるエコ



カタログ

給湯機器カタログの冒頭 16 ページに「給湯器で出来るエコ」や「給湯機器の選び方」を分かりやすくするページを追加しました。



▲ガス給湯器 家庭・業務用総合カタログ



チラシ

エコや節電をテーマに上げた大判リフォームチラシや節電チラシは多くのお得意先様、販売店様にご活用頂き、環境配慮商品の拡販に繋がっています。



▲大判リフォームチラシ(B2)



▲節電販促チラシ(B4)



ノベルティー

ひのき間伐材でカッティングボード（ミニまな板）を制作し、ノベルティーとして活用することで森林保護に貢献しています。



▲間伐材ひのきカッティングボード

●人材育成

ECOな人材を育てる

eco 検定

一人ひとりの環境意識の向上とお客さまへの提案力向上の為、2012年までに営業本部社員全員が「eco 検定 *」合格を目指しています。(2012年3月現在、営業本部全体で約50%の社員が合格済)

*東京商法会議所が実施している環境問題に取り組む人づくりと「持続可能な社会作り」を目的とした社会検定試験。



環境イベント

展示会開催時にエコなイベントとしてソーラーエネルギーを学んで頂くため子ども向けイベントやショールーム内に用意したエコクイズに挑戦して頂くエコクイズラリーを実施しました。未来を担う子ども達にも、イベントを通してエコに触れて頂き、楽しく環境を学べる機会を設けています。



▲親子で作ろう！F1ソーラーカー



▲エコクイズラリー

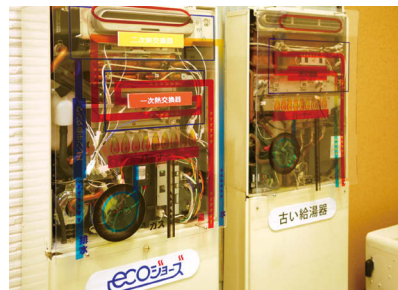
●その他の取り組み

ECOな事務所・ショールーム作り(名古屋支店)

営業拠点の事業所で初めて太陽光発電システムを導入し、事務所の屋上に124枚の太陽光パネルを設置。事務所・ショールームの一部の電力を賅っています。一般家庭のおよそ5軒分の電気使用量相当を発電しています。



▲事務所屋上に設置している太陽光パネル



▲高効率給湯器の販売促進(従来品との比較展示)

環境配慮商品関係の動画もノーリツホームページで配信 全上場企業ホームページランキング調査で業種別優秀サイト賞を受賞

ノーリツホームページでは、お客さまによりわかりやすい情報提供を行うため動画コンテンツを配信しております。

このホームページは「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の点で高く評価され日興アイ・アールが実施した、11年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査で、業種別ランキング第2位となり優秀サイト賞を受賞しました。

※全業種での総合順位は3,603社中365位(昨年、929位)、業種別のカテゴリは金属
※ホームページ充実度ランキング(全上場企業3603社対象)は、全上場企業のホームページにおける情報開示の充実度調査と、企業の情報開示に対する意識醸成の促進を目的としており、03年度に開始して以来、11年で9回目となる。
<http://www.noritz.co.jp/noritzchannel.htm>



▲動画コンテンツのイメージ

責任ある企業として地域社会に貢献

第3回 ノーリツクリーンウォーク(二見人工島清掃活動)

11月3日の文化の日、第3回目となるノーリツクリーンウォークが開催されました。今年も、天候に恵まれ、親子連れや仕事仲間と共に、人工島を清掃することが出来ました。この日の一般参加者は、215名。スタッフを含めると283名でした。これからも、活動を続けていきます。

★ 盛りたくさんのイベント

- ・ 抽選会(子供向け・大人向け)
- ・ 社員による「食育」イベント
- ・ 女子陸上部によるランニング指導
- ・ エコクラフト製作
- ・ 大人気のバルーンアート
- ・ 「NAMの湯」(研修センター大浴場での入浴)



食育イベント



NAM事業所



抽選会に集まるちびっ子



準備体操中



クラフト



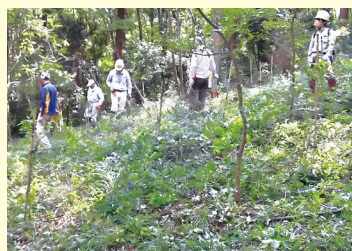
回収したゴミ

エコ・ファースト企業5社共同で、「東京グリーンシップ・アクション」に参加しました

2011年10月に、エコ・ファースト企業5社が集い「東京グリーンシップアクション」に参加しました。今回、東京都八王子市にある八王子戸吹北緑地保全地域での保全活動に参加しました。八王子市のこの地域は加住丘陵といわれていて、山の入り口には民家が建ち並び、山の裏手には学校があるというロケーションであることから、私たちの生活に身近な環境であることを認識させられました。

活動に参加して・・・

下草刈りでは手入れをしなくても猛然と生える雑草と、人の手を借りながら育ちやがて人に恵みをもたらす苗木を見て自然の厳しさや人が自然と共生させてもらっていることを感じました。また、間伐では森に日が入ることの素晴らしさを感じ、清々しい気持ちになりました。



八王子戸吹北緑地保全地域



下草刈り中

株式会社 ビックカメラ様
戸田建設株式会社様
三菱重工パーキング株式会社様
株式会社 エフビコ様

東京グリーンシップアクション

活動プログラム

現地説明

↓
下草刈り

↓
間伐作業

↓
緑地保全



Web エコ・ファースト推進協議会
URL : <http://www.eco1st.jp/>

Web 東京グリーンシップアクション 貴重な自然環境を保全するために、企業・NPO法人等と行政(東京都)が連携している活動です。
URL : http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/other/greenship_action/index.html

ノーリツグループの概要

会社概要

(2011年12月31日現在)

商号 株式会社ノーリツ(NORITZ CORPORATION)
 設立 昭和26年3月10日
 本社所在地 兵庫県神戸市中央区江戸町93番地
 代表者 代表取締役社長 兼 代表執行役員 國井総一郎
 資本金 20,167百万
 従業員数 2,938名(連結 5,519名)※嘱託・パート含まず
 ホームページ <http://www.noritz.co.jp>

ノーリツグループは、株式会社ノーリツ及び連結子会社18社と関連会社で構成されています。事業内容は、温水・空調関連機器、太陽光発電システム、浴室・厨房関連機器の製造・販売事業及びこれに付帯するサービス事業を行っており、お湯を基軸とした豊かな暮らしづくりに貢献する活動を展開しています。

連結子会社(社数:国内11、海外8)

(2012年3月31日現在)

■国内

株式会社エヌティーエス
 ノーリツ住設株式会社
 株式会社エスコアハーツ
 株式会社ノーリツキャピタル
 大成工業株式会社
 信和工業株式会社
 関東産業株式会社
 株式会社アルビー
 株式会社ハーマン
 株式会社ユービック
 株式会社多田スミス

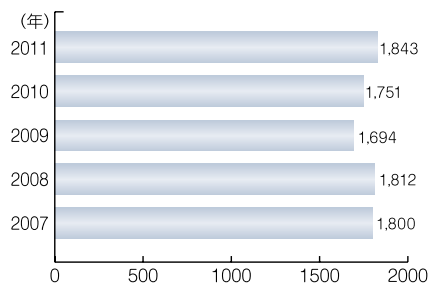
■海外

能率(中国)投資有限公司
 能率(上海)住宅設備有限公司
 上海能率有限公司
 ノーリツアメリカコーポレーション
 能率香港集团有限公司
 能率電子科技(香港)有限公司
 能率香港有限公司
 東莞大新能率電子有限公司

連結売上高・経常利益の推移

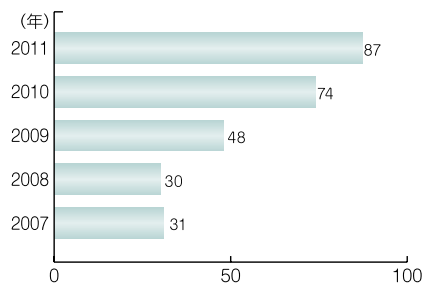
■売上高

単位:億円



■経常利益

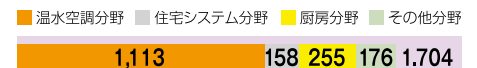
単位:億円



■2011年セグメント情報

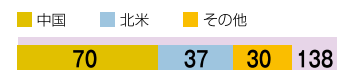
単位:億円

■国内事業(分野別)



(新エネルギー分野は温水空調分野に含む)

■海外事業(エリア別)



環境と社会への取組みについて

ノーリツは、1997年に環境管理システムの国際規格ISO14001を取得し、2000年以降からは、ノーリツグループ全体に拡大することに努めてまいりました。私たちの取組みは、2001年から「環境報告書*1」として年次発行しています。2008年からはホームページでの情報開示も充実化をはかり、2009年には、環境省が認証した業界初のエコ・ファースト企業になりました。2010年からは、森の町内会「間伐に寄与する紙」*2を使用し報告書を製作しています。



*1 2006年から「環境社会報告書」に変更し、現在にいたる。

*2 「森の町内会」は、間伐と間伐利用を促進する活動で、2005年より環境NPO法人オフィス町内会が開始した活動です。

事業領域について

ノーリツグループは、「お湯」をキーワードに、温水機器、温水暖房、太陽光発電システム、システムバス、システムキッチンなどの湯まわり生活設備機器をお届けしています。その全てに息づいているのが、「技術は人のためにあり、人が主役である」という発想です。

国内事業

人の暮らしを豊かにしながら環境と共生し、やすらぎのある空間で毎日を気持ちよく



ECOJOY
ガス温水機器



エコパワール
石油温水機器



ECO WILL
排熱利用
給湯暖房ユニット



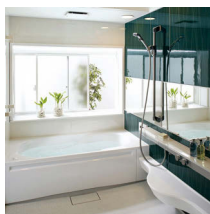
サンヒート
太陽熱利用
給湯暖房システム



太陽光発電システム



ドライホット
壁掛形浴室暖房乾燥機



Clesse
システムバス



SYSTEM KITCHEN **BIREI**
システムキッチン



SOPHINIA
洗面化粧台



S-Blink
ビルトインこんろ



液晶防水テレビ



家庭用軟水器



ガスファンヒーター

海外事業

Bringing a more "Luxurlous Life with Hot Water " to the world



Gas Water Heater
(Tankless)



Gas Water Heater
(Commercial Models)



Gas cooker

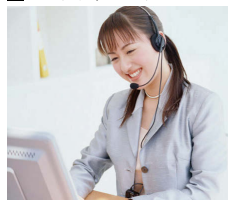
サービス事業

いつでも、気持ちよくお湯を使っていたく

お問い合わせ



■コンタクトセンター



修理は、ノーリツ100%出資のエヌティーエスにお任せください。

24時間
365日受付

365日
修理訪問

即日対応

平日・土曜日の午前中に受付けた場合は当日訪問いたします。
※一部地域及び季節によっては翌日対応になる場合もあります。

エコ＊
リラ＊
キレイ

Ecology_Relax_Clean&Beauty.

株式会社 **ノーリツ**

本 社

〒650-0033 神戸市中央区江戸町93(栄光ビル)

管理本部 環境推進室

〒674-0093 明石市二見町南二見5

TEL (078) 941-3205 FAX (078) 941-4542

ホームページ「CSRへのとりくみ」もご覧ください。

URL <http://www.noritz.co.jp/csr/>

未来が変わる。
日本が変わる。
チャレンジ
25

